

伊都キャンパスの生活状況等に関するアンケート結果

2007年7月

**九州大学新キャンパス計画専門委員会
福利厚生施設ワーキンググループ**

目次	1
1. まえがき	4
2. 伊都キャンパスの生活状況等に関する意識調査	5
フェイスシート	
1. 所属	7
2. 学年	8
3. 性別	8
4. 留学生	8
現在の状況	
5. 現在の住所	9
5 - 1 学年とのクロス集計	10
5 - 2 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計	11
6. 現在の住居	12
6 - 1 性別とのクロス集計	13
6 - 2 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計	14
6 - 3 現在の住所とのクロス集計	15
7. 主に学んでいるキャンパスまでの主な通学方法	16
7 - 1 性別とのクロス集計	17
7 - 2 留学生とのクロス集計	18
7 - 3 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計	19
7 - 4 現在の住所とのクロス集計	21
8. 自宅から大学までの通学方法順	23
9. 通学時間	24
9 - 1 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計	25
9 - 2 現在の住所とのクロス集計	26
10. 1ヶ月の部屋代	27
10 - 1 留学生とのクロス集計	28
10 - 2 現在の住所とのクロス集計	28
10 - 3 現在の住居とのクロス集計	30
10 - 4 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計	31
11. 現在の住居を探した方法	32
キャンパス移転に伴う転居, 予定について	
12. 伊都キャンパス移転に伴う転居	32
12 - 1 現在の住所とのクロス集計	33
12 - 2 現在の住居とのクロス集計	34
12 - 3 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計	35
12 - 4 主に学んでいるキャンパスまでの通学方法とのクロス集計	36
12 - 5 1ヶ月の部屋代とのクロス集計	37

28 - 1 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計	6 2
29 . 課外活動サークルの活動施設	6 3
30 . 課外活動サークルの活動回数	6 4
31 . アルバイトの有無	6 4
31 - 1 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計	6 5
31 - 2 現在の住所とのクロス集計	6 6
32 . アルバイトの週あたりの回数	6 7
33 . アルバイトをしている場所	6 7
34 . 自由記述	6 8
34 - 1 移転（施設・建物）に関する意見	6 8
34 - 2 生活支援（学生寄宿舍・食堂等）に関する意見	7 0
34 - 3 課外活動・アルバイトに関する意見	7 2
34 - 4 地元への意見，その他	7 2
自由記述への回答	7 4
過去の調査との比較	7 6

1. まえがき

九州大学は、2006年10月に工学部の第2陣が移転し、第1ステージが終了しました。

第1ステージの移転を終えた学生の新キャンパスライフの状況等を調査するとともに、学生の意向等を把握するため、今回のアンケートを実施しました。

調査に快く協力してくれた学生の皆さんに感謝するとともに、これらの結果が、今後の伊都キャンパスへの移転に反映されれば幸いです。

平成19年7月

九州大学新キャンパス計画専門委員会
福利厚生ワーキンググループ

2. 伊都キャンパスの生活状況等に関する意識調査

アンケート概要

調査対象

平成19年1月現在、九州大学の工学部、工学府及びシステム情報科学府に在籍する学生を対象とした。

調査期間

平成19年1月9日(火)～平成19年2月9日(金)

調査方法

無記名によるアンケート調査。工学部、工学府及びシステム情報科学府の学生を対象として各学部事務部(全学教育事務室を含む。)からアンケート用紙を配付し、回収した。

調査・集計にあたり、関係授業担当教員及び新キャンパス計画推進室の協力を得た。

回収状況

対象者数 5,120人 回収数 741人(回収率 14.4%)

アンケートの内容

所属・身分等に関する質問

1. 所属
2. 学年
3. 性別
4. 留学生

現在の状況に関する質問

5. 現在の住所
6. 現在の住居
7. 現住所から主に学んでいるキャンパスまでの主な通学方法
8. 自宅から大学までの通学方法順
9. 通学時間
10. 1ヶ月の部屋代
11. 現在の住居を探した方法

キャンパス移転に伴う転居等に関する質問

12. 伊都キャンパス移転に伴う転居
13. 転居を希望するエリア
14. 転居した又は転居を予定している時期

学生寄宿舍ドミトリー に関する質問

15. ドミトリー への入居申請の有無
16. 入居を申請した理由
17. 入居を申請しなかった理由

キャンパスでの生活に関する質問

18. 主に学んでいるキャンパス
19. キャンパスでの生活に満足
20. 学内の駐車場が有料化された場合の月額
21. 主に学んでいるキャンパス以外のキャンパスでの授業（研究）等の受講
22. 主に学んでいるキャンパス以外で授業等を受けているキャンパス
23. 主に学んでいるキャンパス以外のキャンパスへの主な通学方法
24. キャンパスでの食事
25. 大学内の施設等で利用している食事の区分
26. 課外活動サークルへの所属
27. 所属する課外活動サークルの区分
28. 課外活動サークルの活動場所
29. 課外活動サークルの活動施設
30. 課外活動サークルの活動回数
31. アルバイトの有無
32. アルバイトの週あたりの回数
33. アルバイトをしている場所
34. 自由記述

以下，表中の数字単位は，人数を表す。

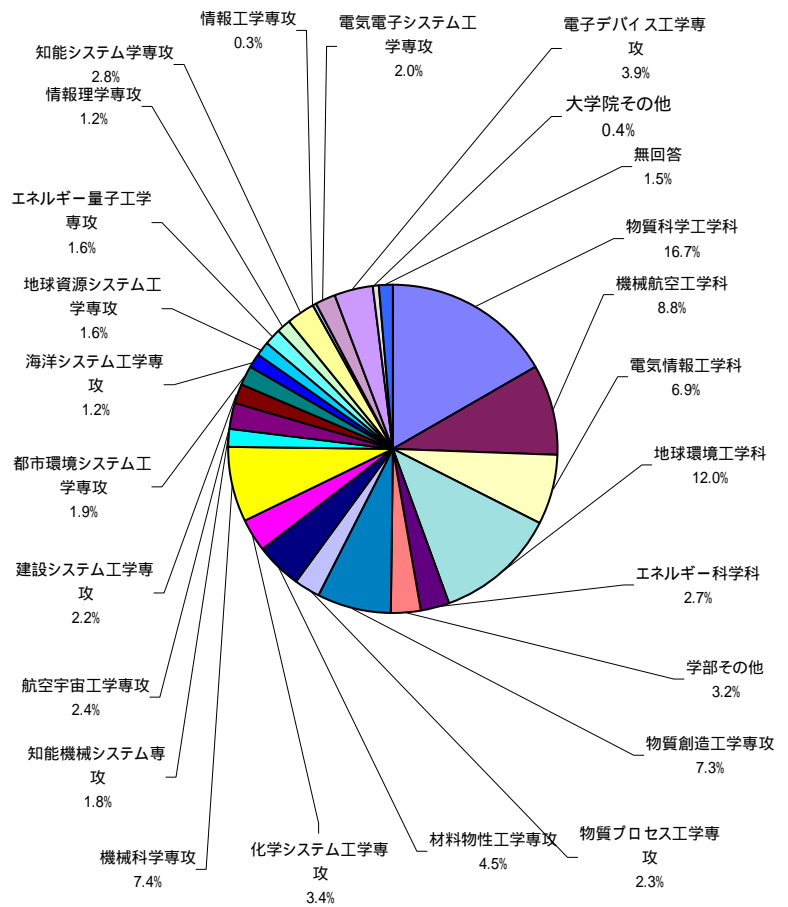
<フェイスシート>

1. 所属

学部所属は全体の 50%を占めている。物質科学工学科が 17%を占め最も多く、ついで地球環境工学科が 12%を占めている。

大学院所属は全体の 50%を占めている。機械科学専攻及び物質創造工学専攻が、それぞれ 7%を占めており、最も多い。

	回答数	構成比
物質科学工学科	124	16.7%
機械航空工学科	65	8.8%
電気情報工学科	51	6.9%
地球環境工学科	89	12.0%
エネルギー科学科	20	2.7%
学部その他	24	3.2%
物質創造工学専攻	54	7.3%
物質プロセス工学専攻	17	2.3%
材料物性工学専攻	33	4.5%
化学システム工学専攻	25	3.4%
機械科学専攻	55	7.4%
知能機械システム専攻	13	1.8%
航空宇宙工学専攻	18	2.4%
建設システム工学専攻	16	2.2%
都市環境システム工学専攻	14	1.9%
海洋システム工学専攻	9	1.2%
地球資源システム工学専攻	12	1.6%
エネルギー量子工学専攻	12	1.6%
情報理学専攻	9	1.2%
知能システム学専攻	21	2.8%
情報工学専攻	2	0.3%
電気電子システム工学専攻	15	2.0%
電子デバイス工学専攻	29	3.9%
大学院その他	3	0.4%
無回答	11	1.5%
計	741	100.0%



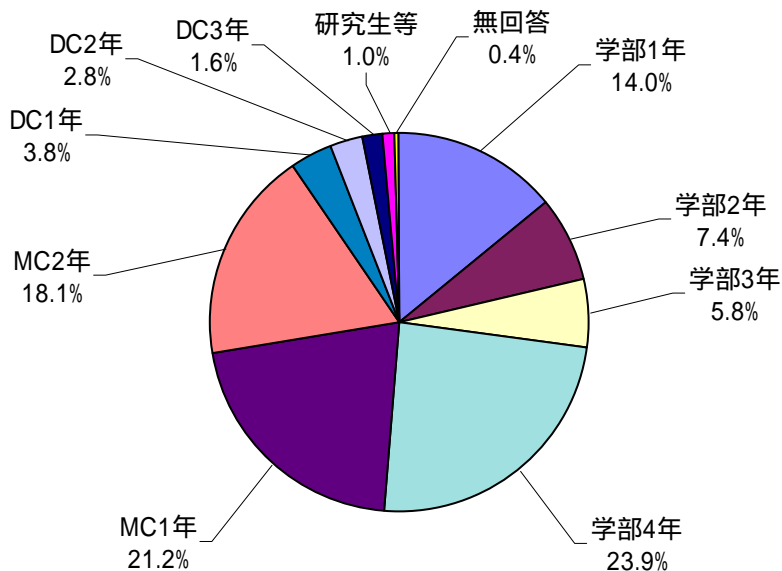
学部その他
建築（記述数：11）
理学部物理学科情報理学コース（記述数：11）
医学部
21世紀プログラム

大学院その他
近畿大学大学院
システム生命科学府

2. 学年

学部は4年が24%で最も多く、ついで1年が14%が多い。大学院はMC1年が21%で最も多く、ついでMC2年が18%が多い。

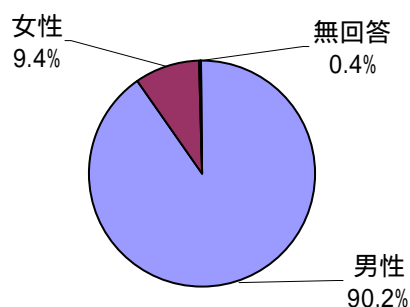
	回答数	構成比
学部1年	104	14.0%
学部2年	55	7.4%
学部3年	43	5.8%
学部4年	177	23.9%
MC1年	157	21.2%
MC2年	134	18.1%
DC1年	28	3.8%
DC2年	21	2.8%
DC3年	12	1.6%
研究生等	7	1.0%
無回答	3	0.4%
計	741	100.0%



3. 性別

性別は男性が90%で圧倒的に多く、女性は9%である。

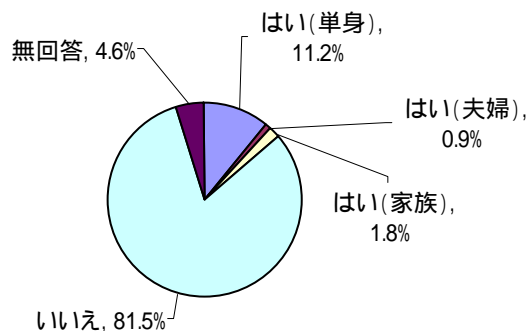
	回答数	構成比
男性	668	90.2%
女性	70	9.4%
無回答	3	0.4%
計	741	100.0%



4. 留学生（単身・夫婦・家族）

留学生は全体の14%である。そのうち単身11%、夫婦1%、家族2%である。

	回答数	構成比
はい(単身)	83	11.2%
はい(夫婦)	7	0.9%
はい(家族)	13	1.8%
いいえ	604	81.5%
無回答	34	4.6%
計	741	100.0%

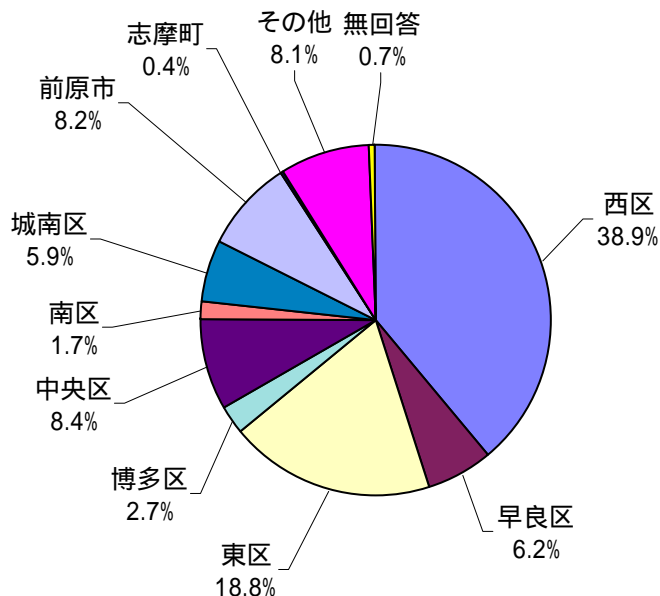


<現在の状況>

5. 現在の住所（西区，前原市は町名まで記入）

現在の住所は西区が39%で最も多く，ついで東区が19%が多い。

	回答数	構成比
西区	288	38.9%
早良区	46	6.2%
東区	139	18.8%
博多区	20	2.7%
中央区	62	8.4%
南区	13	1.7%
城南区	44	5.9%
前原市	61	8.2%
志摩町	3	0.4%
その他	60	8.1%
無回答	5	0.7%
計	741	100.0%



西区町名		
周船寺（記述数：42）	今宿（記述数：7）	愛宕南
飯氏（記述数：33）	小戸（記述数：6）	北崎
田尻（記述数：30）	愛宕（記述数：5）	野方
富士見（記述数：28）	福重（記述数：5）	女原
桑原（記述数：20）	今宿東（記述数：4）	上山門
泉（記述数：17）	内浜（記述数：4）	生の松原
姪浜（記述数：16）	拾六町（記述数：3）	西宿町
元岡（記述数：11）	大字桑原（記述数：3）	石丸
横浜（記述数：9）	千里（記述数：2）	大字小田
下山門（記述数：8）	徳永（記述数：2）	ドミトリー

前原市町名
高田（記述数：34）
浦氏（記述数：3）
前原北（記述数：3）
前原中央（記述数：2）
波多江（記述数：2）
美咲ヶ丘（記述数：2）
駅南
潤
神在
前原西
前原南
曽根
南風台
波多江駅南
波多江駅北

住所その他	
糟屋郡（記述数：6）	柳川市
宗像市（記述数：6）	二丈町
古賀市（記述数：6）	朝倉市
筑紫野市（記述数：5）	筑後市
春日市（記述数：5）	糸島郡
佐賀県（鳥栖市，基山町）（記述数：3）	三池郡
北九州市（記述数：2）	三井郡大刀洗町
福津市（記述数：2）	遠賀郡岡垣町
那珂川町（記述数：2）	学生寮
大野城市（記述数：2）	
小都市（記述数：2）	
山口県（宇部市，下関市）（記述数：2）	
久留米市（記述数：2）	

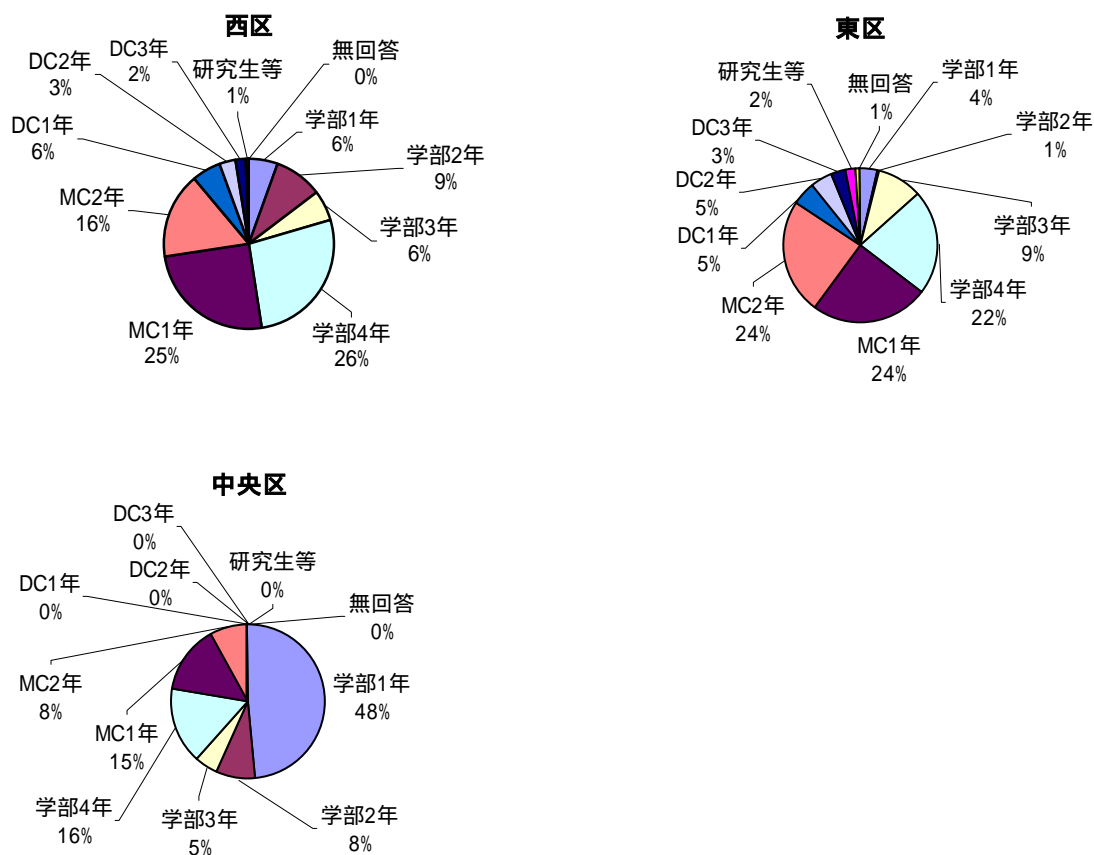
5-1．学年とのクロス集計

現在の住所を中央区であると答えた者の48%は、六本松キャンパスに通う必要のある「学部1年」であった。同様に、城南区においても学部1年生が50%を占める結果となっている。

現在の住所を西区であると答えた者は、「学部4年」「MC1年」「MC2年」の割合が高い。東区においても同様の結果となっているが、ここでは「学部2年」の割合が低くなっている。

これらの結果から、やはりそれぞれの学年に応じて、主に通うことになるキャンパス周辺への転居を行っている学生が多いということが理解できる。

選択項目	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	MC1年	MC2年	DC1年	DC2年	DC3年	研究生等	無回答
西区	16	26	17	78	72	47	16	9	5	2	0
早良区	8	5	0	15	8	6	1	1	2	0	0
東区	5	1	13	30	34	34	7	7	4	3	1
博多区	0	0	1	7	3	6	0	1	1	1	0
中央区	30	5	3	10	9	5	0	0	0	0	0
南区	3	0	0	2	3	4	0	0	0	1	0
城南区	24	6	1	7	3	2	1	0	0	0	0
前原市	2	7	5	14	14	15	3	1	0	0	0
志摩町	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0
その他	15	5	3	13	9	13	0	1	0	0	1
無回答	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1
合計	104	55	43	177	157	134	28	21	12	7	3

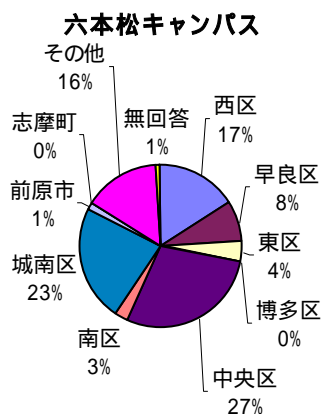
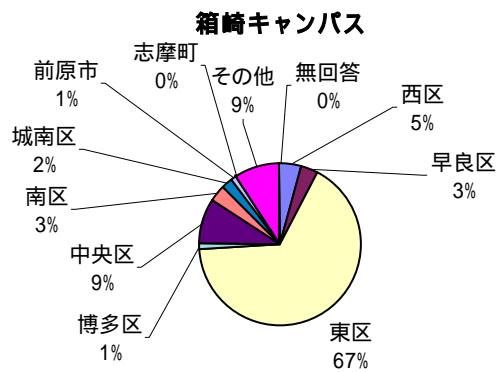
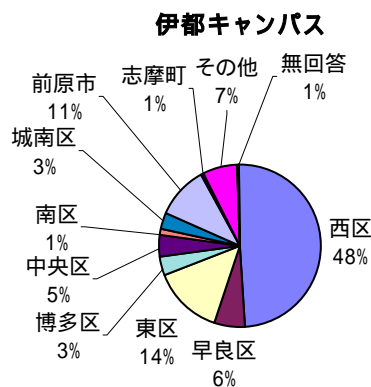


5-2. 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

伊都キャンパスを主に学んでいるキャンパスとして選んだ人は、「西区」という回答の割合がもっとも高く、ついで「東区」「前原市」とつづく。主に伊都キャンパスで学んでいる者の59%が、その近辺(「西区」「前原市»)に居住していると考えられる。箱崎キャンパスを、主に学んでいるキャンパスと回答した者は、東区と回答した割合が67%と圧倒的に高い。

六本松キャンパスと答えた者は、やはり「中央区」が27%、「城南区」が23%と割合が高いものの、ついで「西区」という回答が17%で高く、「学部1年」が伊都キャンパスへのアクセスも考えて、住む場所を選んでいることがうかがえる。

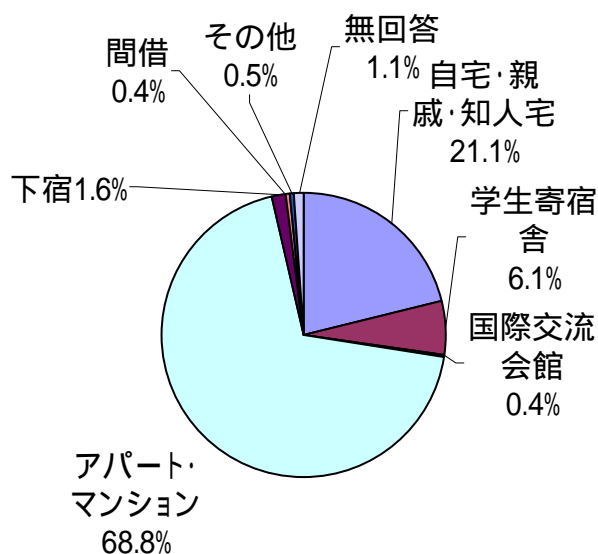
選択項目	西区	早良区	東区	博多区	中央区	南区	城南区	前原市	志摩町	その他	無回答
伊都キャンパス	265	34	77	19	25	7	18	58	3	36	3
箱崎キャンパス	4	3	58	1	8	3	2	1	0	8	0
六本松キャンパス	17	8	4	0	29	3	24	1	0	16	1
筑紫キャンパス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大橋キャンパス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院キャンパス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	288	46	139	20	62	13	44	61	3	60	5



6. 現在の住居

現在の住居はアパート・マンションが69%で最も多く、ついで自宅・親戚・知人宅が21%で多い。

	回答数	構成比
自宅・親戚・知人宅	156	21.1%
学生寄宿舍	45	6.1%
国際交流会館	3	0.4%
アパート・マンション	510	68.8%
下宿	12	1.6%
間借	3	0.4%
その他	4	0.5%
無回答	8	1.1%
計	741	100.0%

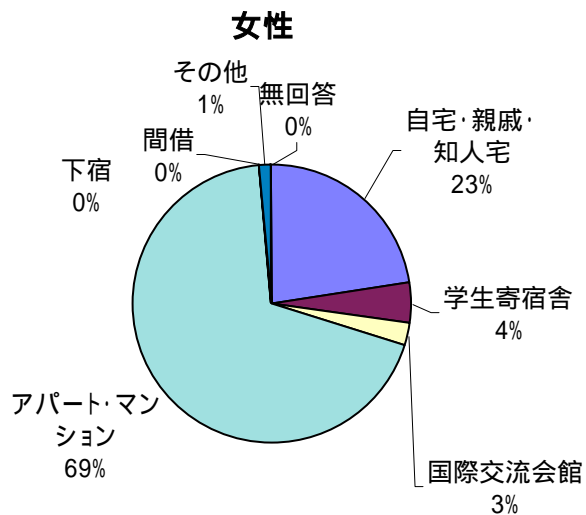
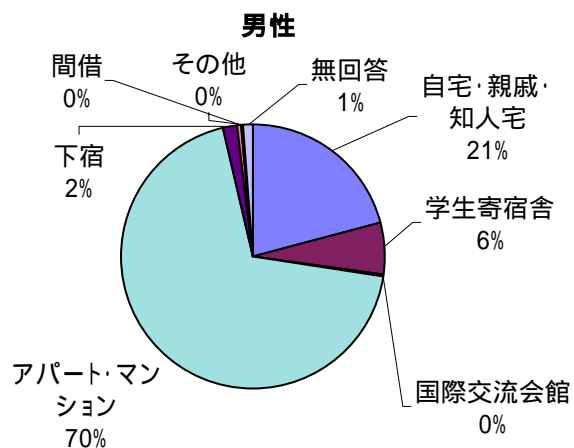


住居その他
2世帯住宅

6-1．性別とのクロス集計

現在の住居において、性別による大きな違いは見られなかった。

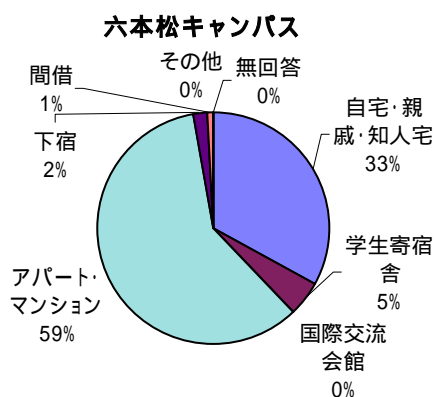
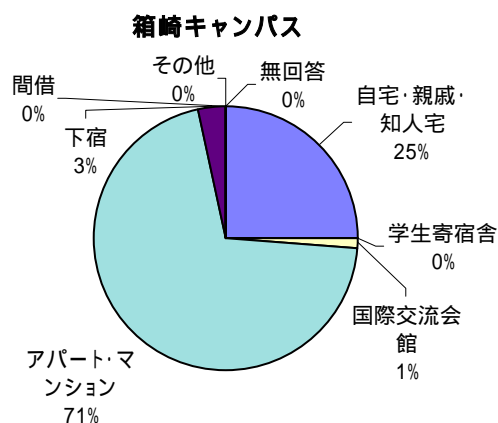
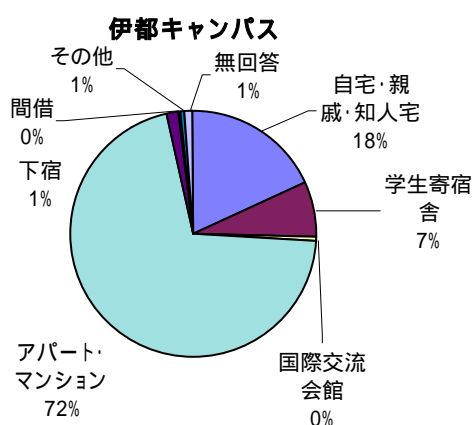
選択項目	自宅・親戚・知人宅	学生寄宿舍	国際交流会館	アパート・マンション	下宿	間借	その他	無回答	合計
男性	140	42	1	460	12	3	3	7	668
女性	16	3	2	48	0	0	1	0	70
無回答	0	0	0	2	0	0	0	1	3
合計	156	45	3	510	12	3	4	8	741



6-2. 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

現在の住居を「自宅・親戚・知人宅」と答えた者の割合は、伊都キャンパスでは18%、箱崎キャンパスでは25%、六本松キャンパスでは33%であり、伊都キャンパスでの割合が最も低い。「アパート・マンション」と答えた者の割合はこれと逆になり、伊都キャンパスが72%で最も多く、箱崎キャンパスが71%、六本松キャンパスでは59%となっている。

選択項目	自宅・親戚・ 知人宅	学生寄宿舍	国際交流会館	アパート・ マンション	下宿	間借	その他	無回答
伊都キャンパス	100	40	2	385	7	2	3	6
箱崎キャンパス	22	0	1	62	3	0	0	0
六本松キャンパス	34	5	0	61	2	1	0	0
筑紫キャンパス	0	0	0	0	0	0	0	0
大橋キャンパス	0	0	0	0	0	0	1	0
病院キャンパス	0	0	0	1	0	0	0	0
無回答	0	0	0	1	0	0	0	2
合計	156	45	3	510	12	3	4	8

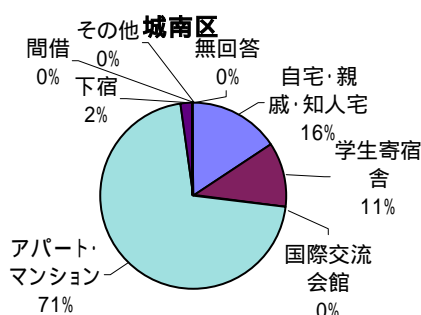
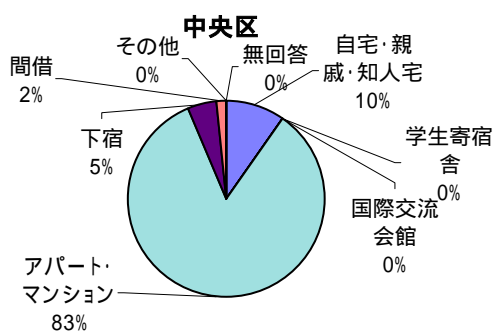
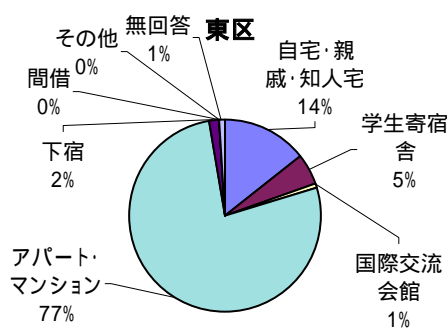
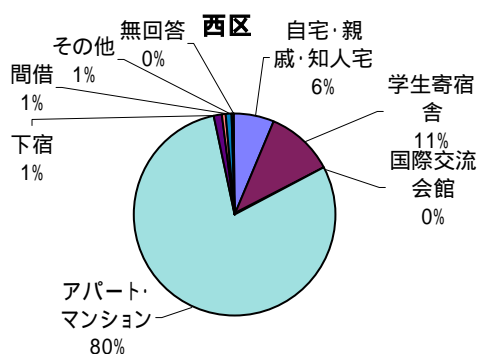


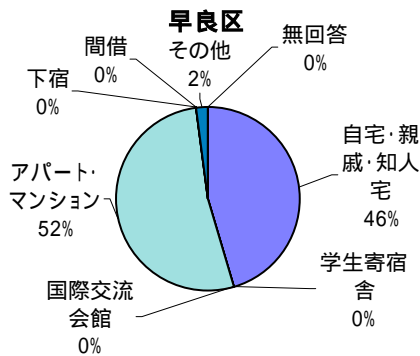
6-3．現在の住所とのクロス集計

全体に、「アパート・マンション」と答えた者の割合が高いが、早良区においては46%が、南区及びその他の地域においてはほぼ全員が、「自宅・親戚・知人宅」と答えている。このことから、こうした地域に関しては、キャンパスへのアクセスよりも自宅等に居住することのメリットを優先している学生が多いといえる。また、早良区の学生に関しては、転居せずとも伊都キャンパスに通える範囲に自宅があるということも考えられる。

なお、九州大学の学生寄宿舍が所在する西区、東区、城南区における、「学生寄宿舍」と答えた者の割合は、それぞれ11%、5%、11%であった。

選択項目	自宅・親戚・知人宅	学生寄宿舍	国際交流会館	アパート・マンション	下宿	間借	その他	無回答
西区	18	32	0	228	4	2	3	1
早良区	21	0	0	24	0	0	1	0
東区	20	7	1	107	3	0	0	1
博多区	7	0	1	11	0	0	0	1
中央区	6	0	0	52	3	1	0	0
南区	12	0	1	0	0	0	0	0
城南区	7	5	0	31	1	0	0	0
前原市	6	0	0	52	1	0	0	2
志摩町	2	0	0	1	0	0	0	0
その他	56	1	0	1	0	0	0	2
無回答	1	0	0	3	0	0	0	1
合計	156	45	3	510	12	3	4	8

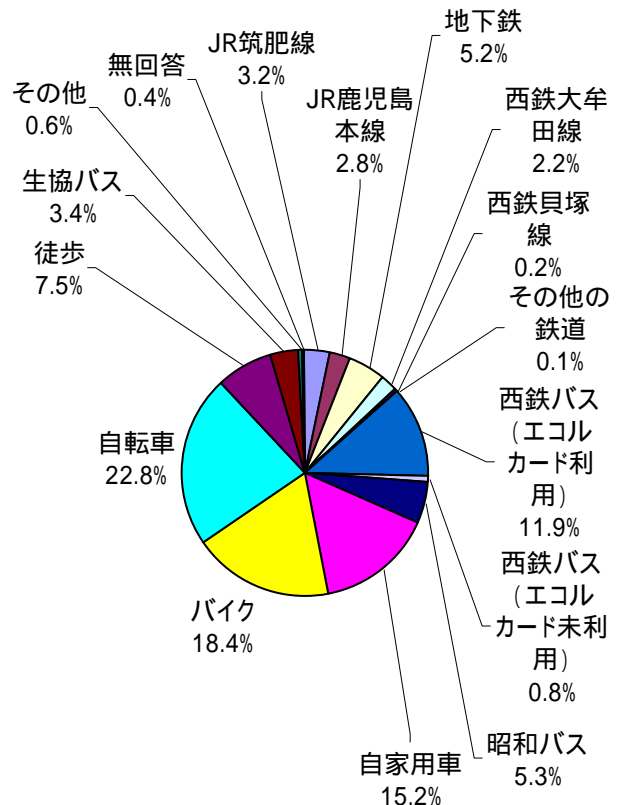




7. 主に学んでいるキャンパスまでの主な通学方法（複数回答）

主に学んでいるキャンパスまでの通学方法は自転車 that 23%で最も多く、ついでバイクが 19%となっている。

	回答数	構成比
JR 筑肥線	34	3.2%
JR 鹿児島本線	29	2.8%
地下鉄	54	5.2%
西鉄大牟田線	23	2.2%
西鉄貝塚線	2	0.2%
その他の鉄道	1	0.1%
西鉄バス（エコルカード利用）	124	11.9%
西鉄バス（エコルカード未利用）	8	0.8%
昭和バス	56	5.3%
自家用車	159	15.2%
バイク	192	18.4%
自転車	238	22.8%
徒歩	78	7.5%
生協バス	36	3.4%
その他	6	0.6%
無回答	4	0.4%
計	1044	100.0%

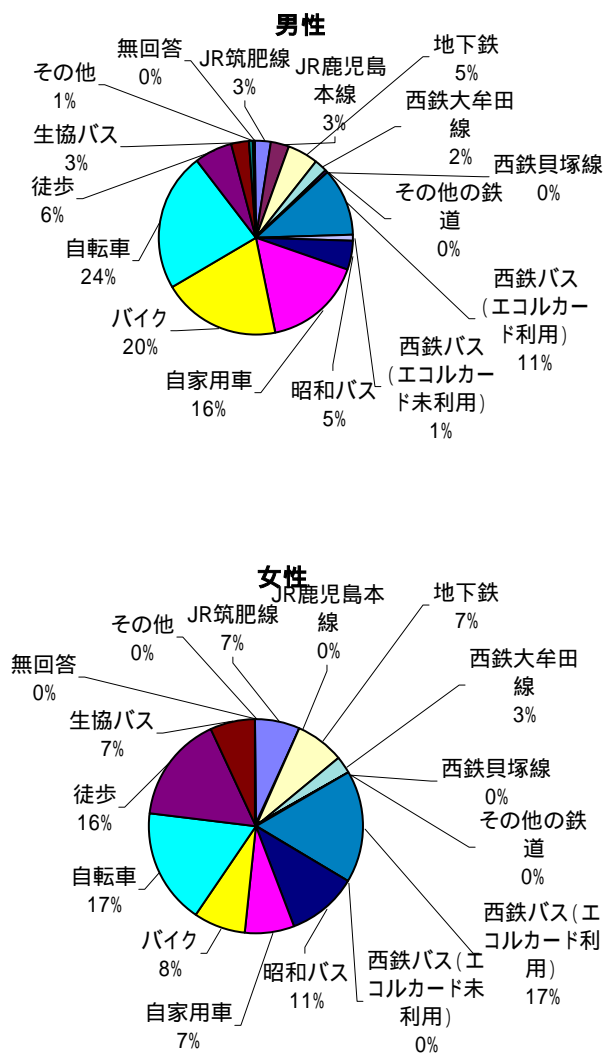


通学方法その他
新幹線
筑豊電鉄
JR 長崎本線
原付

7-1. 性別とのクロス集計

男性・女性ともに「自転車」の割合が高い（男性は24%、女性は17%）。また、男性の通学方法としては「バイク」が20%、「自家用車」が16%と割合が高いが、女性ではそれぞれ8%、7%に止まっている。逆に女性の通学方法として割合が高いのは、「徒歩」の16%、「昭和バス」の11%などである。

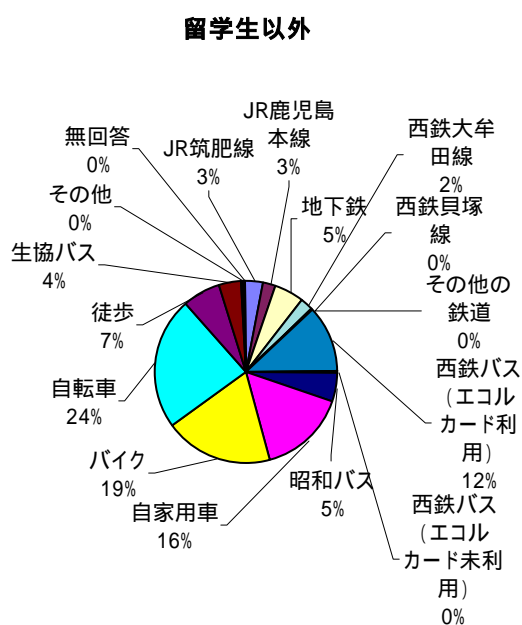
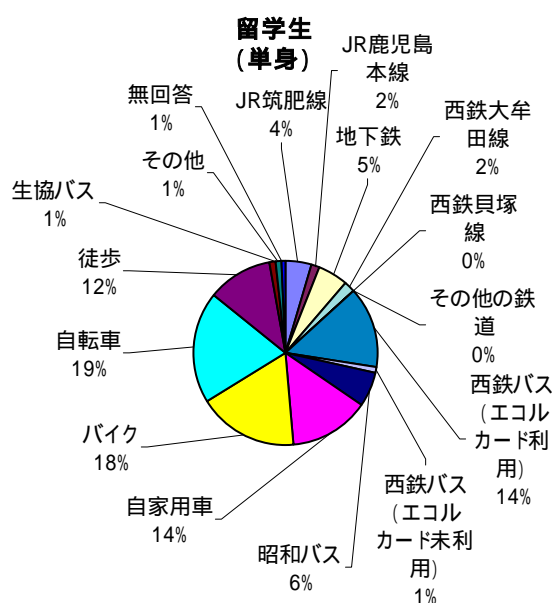
選択項目	男性	女性	無回答
JR 筑肥線	26	8	0
JR 鹿児島本線	29	0	0
地下鉄	46	8	0
西鉄大牟田線	20	3	0
西鉄貝塚線	2	0	0
その他の鉄道	1	0	0
西鉄バス（エコルカード利用）	105	19	0
西鉄バス（エコルカード未利用）	8	0	0
昭和バス	44	12	0
自家用車	151	8	0
バイク	183	9	0
自転車	216	20	2
徒歩	59	18	1
生協バス	28	8	0
その他	6	0	0
無回答	3	0	1
合計	927	113	4



7-2. 留学生とのクロス集計

「徒歩」の割合は、留学生の単身者（「留学生ですか」の質問に「はい」と答えた単身者）が12%、留学生以外（「いいえ」と答えた者）が7%で、留学生のほうが若干高い。

選択項目	留学生 (単身)	留学生 (夫婦)	留学生 (家族)	留学生 以外	無回答
JR 筑肥線	5	1	1	25	2
JR 鹿児島本線	2	1	2	22	2
地下鉄	6	0	2	44	2
西鉄大牟田線	2	0	0	19	2
西鉄貝塚線	0	0	0	2	0
その他の鉄道	0	0	0	0	1
西鉄バス（エコルカード利用）	16	3	5	98	2
西鉄バス（エコルカード未利用）	1	1	1	4	1
昭和バス	7	1	2	42	4
自家用車	16	1	3	131	8
バイク	20	2	2	159	9
自転車	22	1	3	201	11
徒歩	13	2	1	58	4
生協バス	1	1	0	33	1
その他	1	1	0	4	0
無回答	1	0	0	2	1
合計	113	15	22	844	50

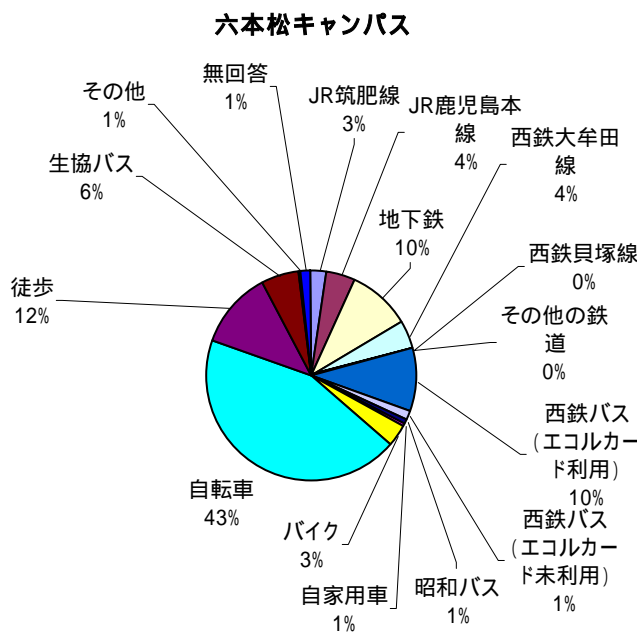
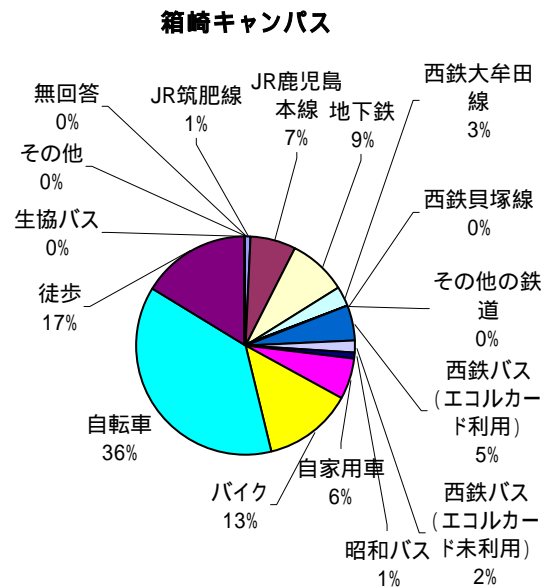
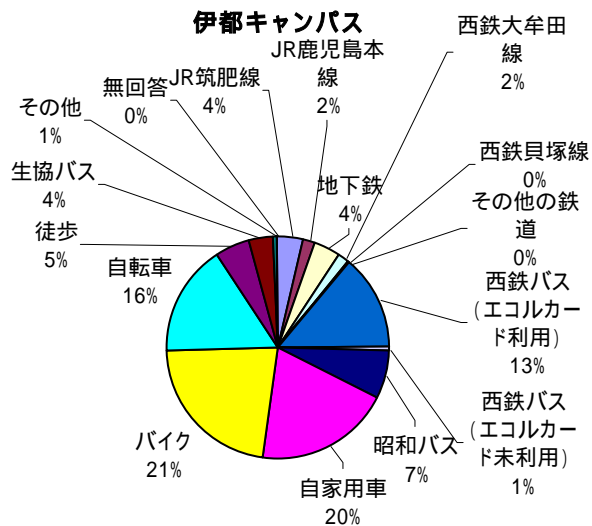


7-3 . 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

主に学んでいるキャンパスを「伊都キャンパス」と答えた者は、主な通学方法として「バイク」が21%、「自家用車」が20%、「自転車」が16%、「西鉄バス（エコルカード利用）」が13%である。「箱崎キャンパス」を主に学んでいるキャンパスと答えた者は、「自転車」が36%、「徒歩」が17%、「バイク」が13%であり、回答の割合が高い。「六本松キャンパス」では、「自転車」が43%で圧倒的に大きな割合を占め、ついで「徒歩」が12%、「地下鉄」が10%、「西鉄バス（エコルカード利用）」が10%となっている。伊都キャンパスと答えた者は、「学部2年」「学部4年」「MC1年」「MC2年」といった高学年の割合が高いこと、またキャンパスに坂が多いこともあって、主に伊都キャンパスで学んでいる人の60%が近辺に住んでいるにもかかわらず、「バイク」や「自家用車」を通学方法として選んでいる人がいるものと考えられる。

箱崎、六本松は、学校の近辺で生活している人の割合が高いため、「自転車」「徒歩」の割合が高くなっているものと考えられる。六本松では、地下鉄やバスの利用も高く、交通の便のよさを示している。

選択項目	伊都	箱崎	六本松	筑紫	大橋	病院	無回答
JR 筑肥線	29	1	4	0	0	0	0
JR 鹿児島本線	14	8	7	0	0	0	0
地下鉄	29	10	15	0	0	0	0
西鉄大牟田線	13	3	7	0	0	0	0
西鉄貝塚線	2	0	0	0	0	0	0
その他の鉄道	1	0	0	0	0	0	0
西鉄バス（エコルカード利用）	103	6	15	0	0	0	0
西鉄バス（エコルカード未利用）	4	2	2	0	0	0	0
昭和バス	54	1	1	0	0	0	0
自家用車	150	7	1	0	0	1	0
バイク	172	15	5	0	0	0	0
自転車	125	43	69	0	0	0	1
徒歩	39	19	19	0	1	0	0
生協バス	27	0	9	0	0	0	0
その他	5	0	1	0	0	0	0
無回答	0	0	2	0	0	0	2
合計	767	115	157	0	1	1	3



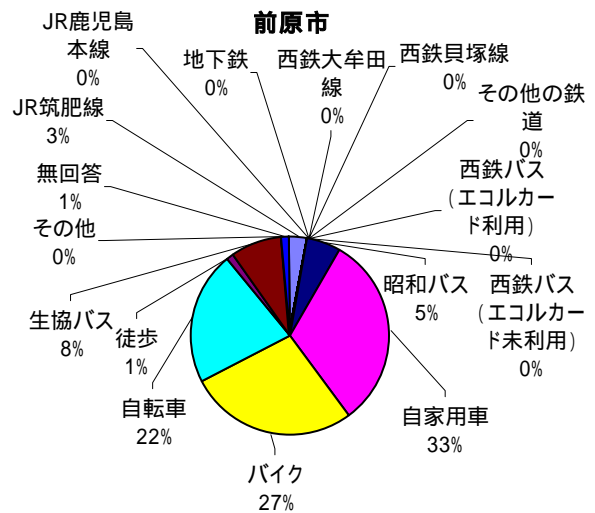
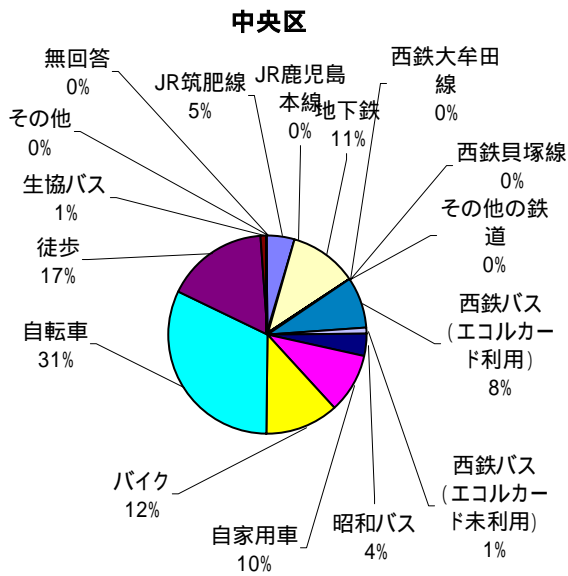
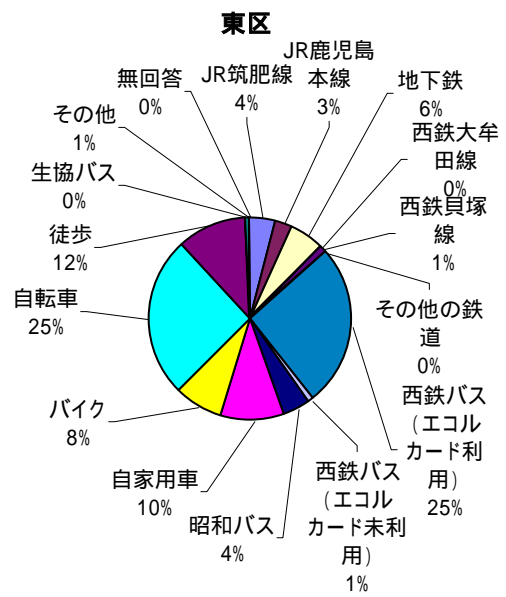
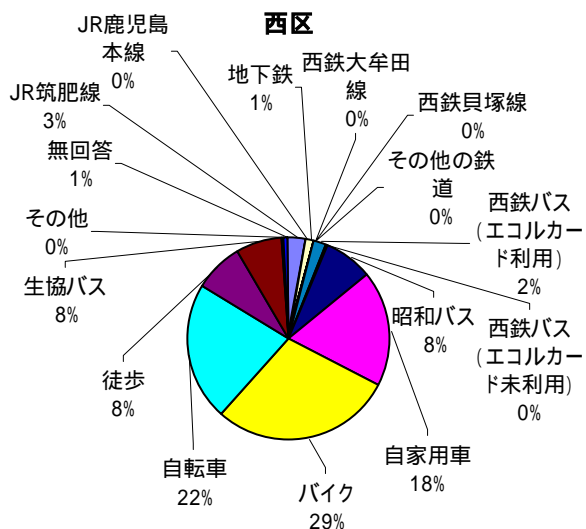
7-4 . 現在の住所とのクロス集計

現住所が西区であると答えた者の通学方法は、「バイク」が29%、「自転車」が22%、「自家用車」が18%と高く、公共交通機関としては「昭和バス」が8%とよく利用されている。また、同程度に「生協バス」が8%と利用されている。西区と前原市の傾向は類似している点が多いが、前原市の場合、最も回答が多かったのは「自家用車」の33%であり、「徒歩」は1%とほとんどいなかった。

現住所が東区であると答えた者に関しては、「自転車」が25%、「西鉄バス(エコルカード利用)」が25%と割合が高い。中央区と答えた者の通学方法は、「自転車」が31%、「徒歩」が17%、「バイク」が12%であるが、「地下鉄」が11%、「西鉄バス(エコルカード利用)」が8%と、様々な交通機関が利用されている。

なお、公共交通機関の利用に関しては、交通アクセスの状況に加えて、現住所の最寄りのキャンパスと、主に学んでいるキャンパスとが必ずしも一致しているわけではないという点に留意する必要がある。

選択項目	西区	早良区	東区	博多区	中央区	南区	城南区	前原市	志摩町	その他	無回答
JR 筑肥線	10	5	8	1	4	1	1	2	0	2	0
JR 鹿児島本線	0	0	5	3	0	0	0	0	0	21	0
地下鉄	5	9	11	3	9	4	2	0	0	10	1
西鉄大牟田線	0	0	0	0	0	5	0	0	0	17	1
西鉄貝塚線	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の鉄道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
西鉄バス(エコルカード利用)	7	8	49	9	7	7	4	0	0	33	0
西鉄バス(エコルカード未利用)	1	0	2	1	1	0	2	0	0	1	0
昭和バス	30	6	8	2	3	1	0	4	0	1	1
自家用車	67	13	19	6	8	3	5	23	2	12	1
バイク	105	15	15	3	10	2	10	20	1	10	1
自転車	82	12	49	4	27	3	27	16	0	17	1
徒歩	29	4	22	2	14	0	2	1	0	4	0
生協バス	28	0	0	0	1	0	0	6	0	0	1
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0
無回答	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	367	72	191	34	84	26	53	73	3	133	8



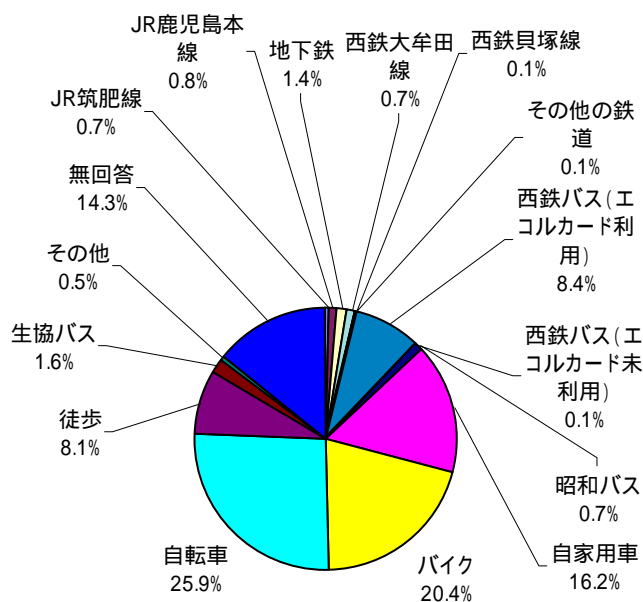
8. 自宅から大学までの通学方法順

自転車を使って家を出ると答えた人の割合が最も高く、26%となっている。つぎに回答の割合が高いのは、バイクが20%、自家用車が16%となっている。通学方法順の2番目に回答されている割合の高い交通方法は、エコルカード利用の西鉄バスとなっており、回答者の割合は6%となっている。そして、3番目の交通方法に回答されている割合が高いものは、エコルカード利用の西鉄バスと徒歩であり、それぞれ4%、2%となっている。

なお、2・3番目の円グラフは、無回答の割合が80%を超えているため省略した。また4・5・6・7番目の交通手段を回答した人の割合は5%以下であり省略した。

1 番目の通学方法

	回答数	構成比
JR 筑肥線	5	0.7%
JR 鹿児島本線	6	0.8%
地下鉄	10	1.4%
西鉄大牟田線	5	0.7%
西鉄貝塚線	1	0.1%
その他の鉄道	1	0.1%
西鉄バス(エコルカード利用)	62	8.4%
西鉄バス(エコルカード未利用)	1	0.1%
昭和バス	5	0.7%
自家用車	120	16.2%
バイク	151	20.4%
自転車	192	25.9%
徒歩	60	8.1%
生協バス	12	1.6%
その他	4	0.5%
無回答	106	14.3%
計	741	100.0%



2 番目の通学方法

	回答数	構成比
JR 筑肥線	8	1.1%
JR 鹿児島本線	19	2.6%
地下鉄	23	3.1%
西鉄大牟田線	15	2.0%
西鉄貝塚線	0	0.0%
その他の鉄道	0	0.0%
西鉄バス（エコルカード利用）	45	6.1%
西鉄バス（エコルカード未利用）	1	0.1%
昭和バス	12	1.6%
自家用車	2	0.3%
バイク	1	0.1%
自転車	4	0.6%
徒歩	9	1.2%
生協バス	6	0.8%
その他	0	0.0%
無回答	596	80.4%
計	741	100.0%

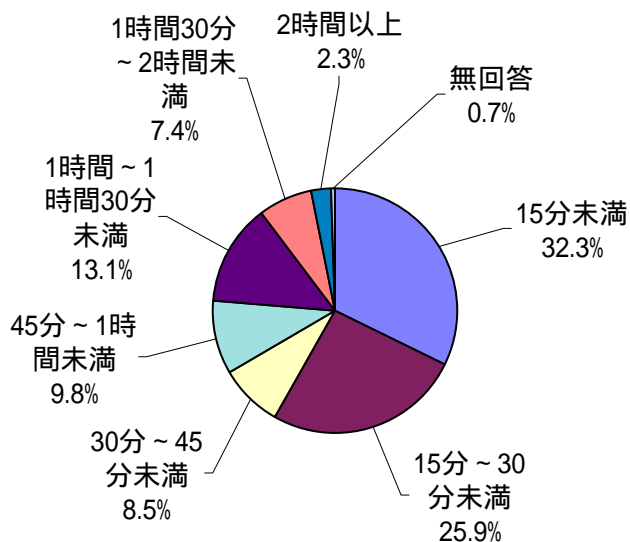
3 番目の通学方法

	回答数	構成比
JR 筑肥線	10	1.4%
JR 鹿児島本線	0	0.0%
地下鉄	11	1.5%
西鉄大牟田線	1	0.1%
西鉄貝塚線	0	0.0%
その他の鉄道	0	0.0%
西鉄バス（エコルカード利用）	27	3.7%
西鉄バス（エコルカード未利用）	0	0.0%
昭和バス	8	1.1%
自家用車	0	0.0%
バイク	0	0.0%
自転車	0	0.0%
徒歩	18	2.4%
生協バス	1	0.1%
その他	0	0.0%
無回答	665	89.7%
計	741	100.0%

9. 通学時間

通学時間は 15 分未満が 32% で最も多く、ついで 15 分～30 分未満が 26% で多い。

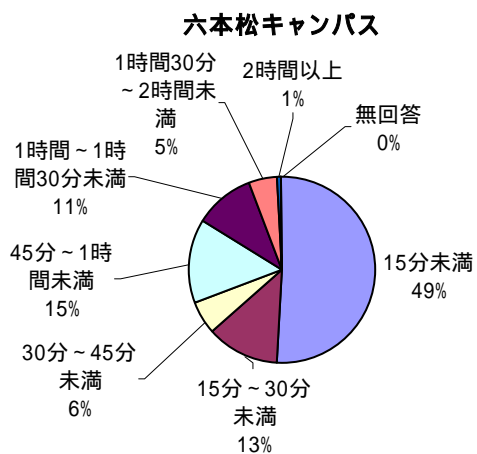
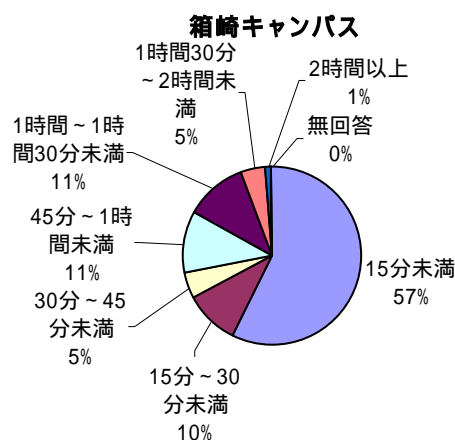
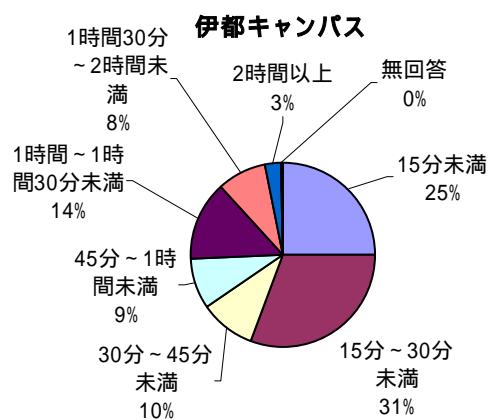
	回答数	構成比
15 分未満	239	32.3%
15 分～30 分未満	192	25.9%
30 分～45 分未満	63	8.5%
45 分～1 時間未満	73	9.8%
1 時間～1 時間 30 分未満	97	13.1%
1 時間 30 分～2 時間未満	55	7.4%
2 時間以上	17	2.3%
無回答	5	0.7%
計	741	100.0%



9-1. 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

主に学んでいるキャンパスとして伊都キャンパスを選んだ者は、「15分～30分未満」が31%、「15分未満」が25%と割合が高い。箱崎、六本松では、「15分未満」と答えた者の割合は49%と非常に高い。なお、注意する必要があるのは、伊都キャンパスを主要なキャンパスとしている人の主な交通手段は「バイク」や「自家用車」であり、箱崎、六本松では「自転車」「徒歩」であるということである。伊都の「15分未満」「15分～30分未満」という回答は、「バイク」や「自家用車」での通学時間であり、自転車、徒歩の「15分未満」「15分～30分未満」の通学時間とは異なるということを気に留めておく必要がある。

選択項目	15分未満	15分～30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答
伊都キャンパス	136	169	53	48	76	46	15	2
箱崎キャンパス	50	9	4	10	10	4	1	0
六本松キャンパス	52	13	6	15	11	5	1	0
筑紫キャンパス	0	0	0	0	0	0	0	0
大橋キャンパス	1	0	0	0	0	0	0	0
病院キャンパス	0	1	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	239	192	63	73	97	55	17	5



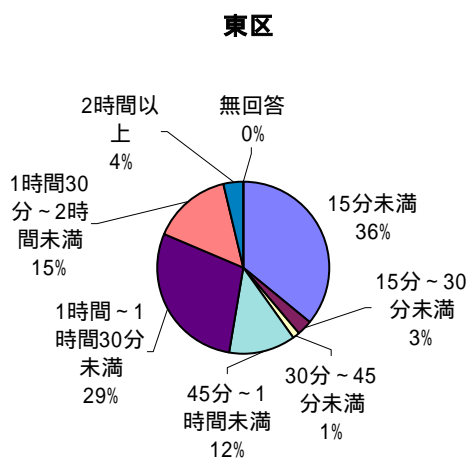
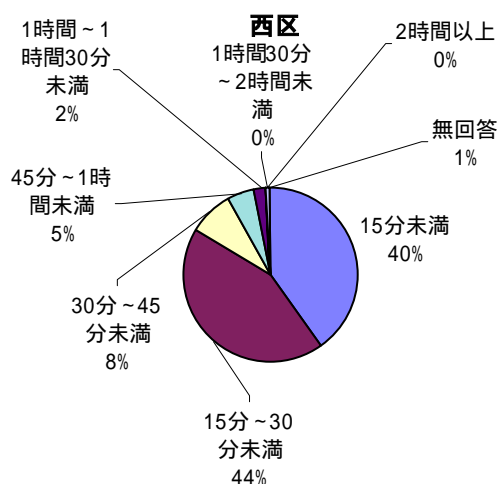
9-2. 現在の住所とのクロス集計

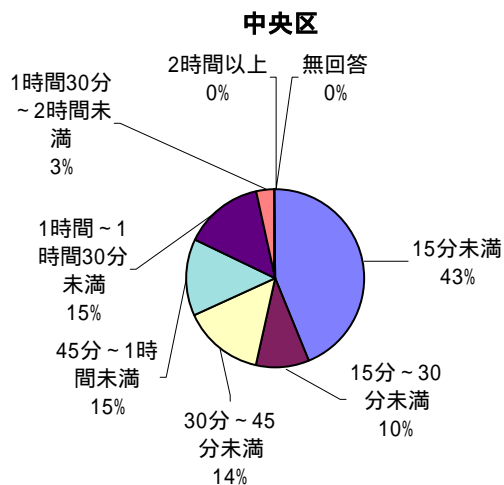
現住所が西区であると答えた者の通学時間は「15分未満」が40%、「15分～30分未満」が44%であり、合わせて84%を占めている。また、1時間30分以上かかると答えた者はいなかった。

中央区においては「15分未満」という回答が43%で最も多いものの、それ以外の回答に関しては、「15分～30分未満」が10%、「30分～45分未満」が14%、「45分～1時間未満」が15%、「1時間～1時間30分未満」が15%と、各区分が同じような割合になっている。

極端な結果となったのが東区であり、「15分未満」という回答が36%と最も多かったのにも関わらず、次いで多かったのは「1時間～1時間30分未満」であり、29%を占めている。また、「1時間30分～2時間未満」という回答が15%、「2時間以上」という回答も4%を占めている。このことは、東区に居住している学生の主に通うキャンパスが、箱崎キャンパスと伊都キャンパスとに二分されていることに要因があると考えられる。他の住所における状況も合わせ、西区や前原市以外の地域から伊都キャンパスに通う学生は、やはり通学に多くの時間を要しているという現状がうかがえる。

選択項目	15分未満	15分～30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答
西区	115	126	24	14	7	0	0	2
早良区	4	13	12	12	3	2	0	0
東区	50	4	2	17	40	21	5	0
博多区	0	0	1	6	8	5	0	0
中央区	27	6	9	9	9	2	0	0
南区	0	3	0	2	4	4	0	0
城南区	22	2	10	6	4	0	0	0
前原市	19	33	4	1	2	0	0	2
志摩町	0	3	0	0	0	0	0	0
その他	1	2	1	3	20	21	12	0
無回答	1	0	0	3	0	0	0	1
合計	239	192	63	73	97	55	17	5

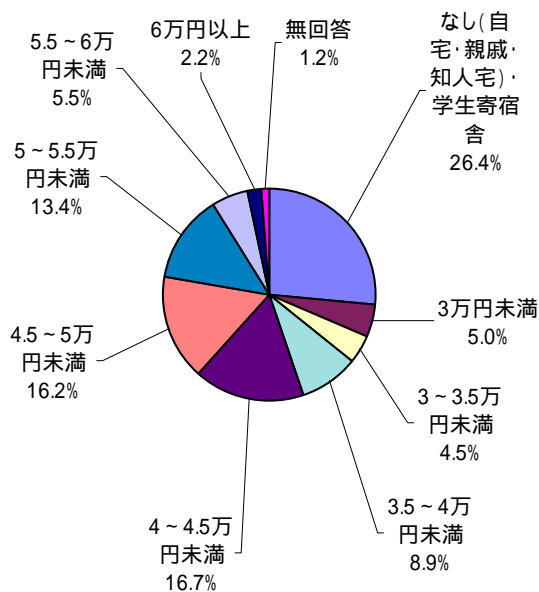




10. 1ヶ月の部屋代（駐車場料金，共益費は除く）

1ヶ月の部屋代は、なし（自宅・親戚・知人宅）・学生寄宿舍が27%で最も多く、ついで4～4.5万円未満が17%で多い。

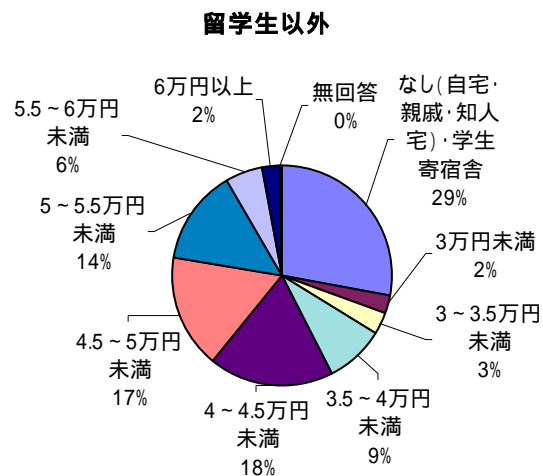
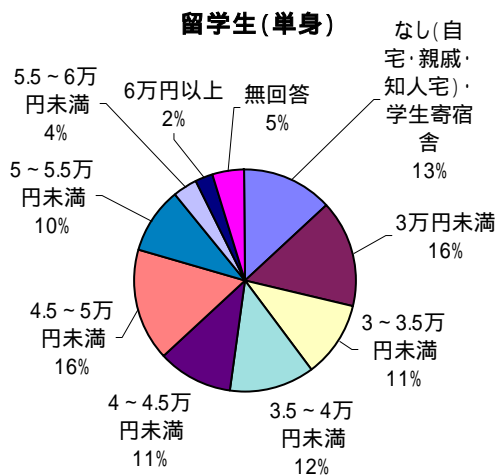
	回答数	構成比
なし（自宅・親戚・知人宅）・学生寄宿舍	196	26.4%
3万円未満	37	5.0%
3～3.5万円未満	33	4.5%
3.5～4万円未満	66	8.9%
4～4.5万円未満	124	16.7%
4.5～5万円未満	120	16.2%
5～5.5万円未満	99	13.4%
5.5～6万円未満	41	5.5%
6万円以上	16	2.2%
無回答	9	1.2%
計	741	100.0%



10-1. 留学生とのクロス集計

留学生の単身者(「留学生ですか」の質問に「はい」と答えた単身者)の部屋代は、3万円未満が16%、3~3.5万円未満が11%、3.5~4万円未満が12%と、4万円未満が39%を占める。なお、「なし(自宅・親戚・知人宅)・学生寄宿舍」の割合は13%である。

選択項目	なし(自宅・親戚・知人宅)・学生寄宿舍	3万円未満	3~3.5万円未満	3.5~4万円未満	4~4.5万円未満	4.5~5万円未満	5~5.5万円未満	5.5~6万円未満	6万円以上	無回答
留学生(単身)	11	13	9	10	9	14	8	3	2	4
留学生(夫婦)	2	2	2	0	0	0	0	0	0	1
留学生(家族)	4	6	0	1	0	2	0	0	0	0
留学生以外	170	15	19	53	111	100	86	34	14	2
無回答	9	1	3	2	4	4	5	4	0	2
合計	196	37	33	66	124	120	99	41	16	9

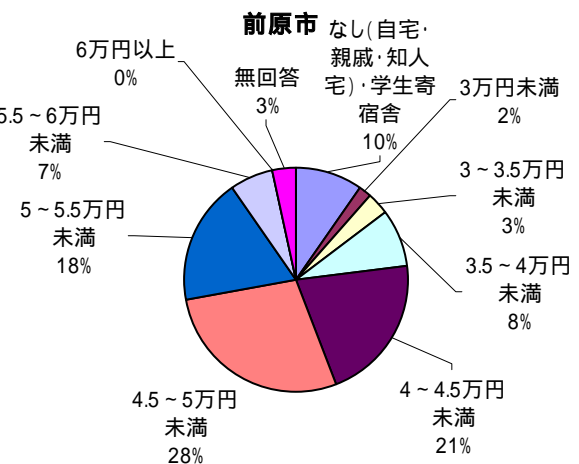
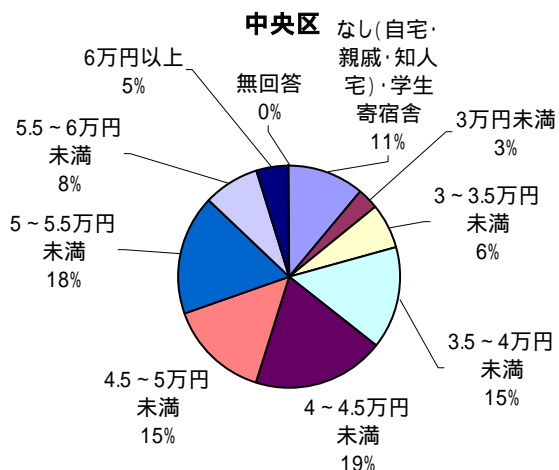
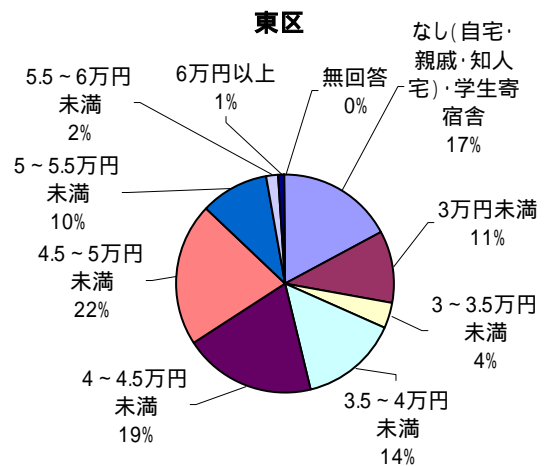
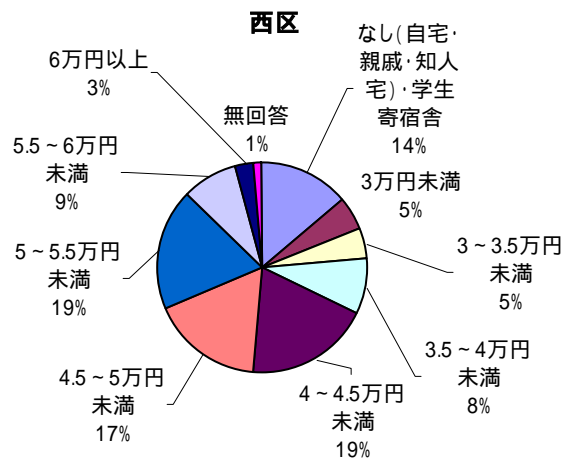


10-2. 現在の住所とのクロス集計

「なし(自宅・親戚・知人宅)・学生寄宿舍」を除くと、現在の住所を西区と答えた者の1ヶ月の部屋代は、「4~4.5万円未満」が19%、「5~5.5万円未満」が19%、「4.5~5万円未満」が17%の順になっている。同様に、東区に関しては「4.5~5万円未満」が22%、「4~4.5万円未満」が19%、「3.5~4万円未満」が14%となっており、中央区に関しては、「4~4.5万円未満」が19%、「5~5.5万円未満」が18%の順となっている。なお、前原市に関しては、「4~4.5万円未満」が28%と高くなっていることを除けば、概ね西区の回答と近い結果となっている。

以上の結果から、1ヶ月の部屋代の標準的な金額は4~5万円程度(単純集計で最も多かったのは4~4.5万円未満)となっており、大きな地域差は表れなかった。ただし、東区においては「3万円未満」の割合が11%となっており、4万円未満の割合と合わせて29%である。西区における4万円未満の割合は18%、中央区では24%となっており、安い部屋代に関しては、東区における割合の高さが目を引く結果となっている。

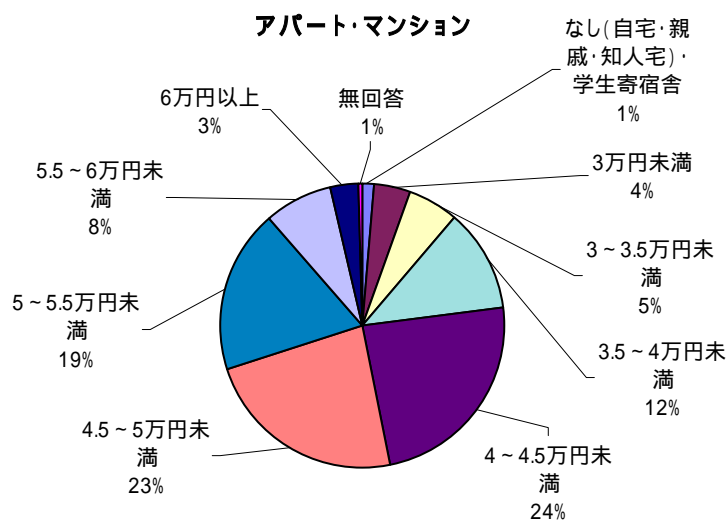
選択項目	なし(自宅・ 親戚・知人宅)・ 学生寄宿舍	3万円 未満	3 ~ 3.5万円 未満	3.5 ~ 4万円 未満	4 ~ 4.5万円 未満	4.5 ~ 5万円 未満	5 ~ 5.5万円 未満	5.5 ~ 6万円 未満	6万円 以上	無回答
西区	41	14	14	24	54	50	54	26	8	3
早良区	26	0	1	1	8	2	4	0	4	0
東区	24	15	5	20	27	30	14	3	1	0
博多区	7	2	2	1	3	1	2	2	0	0
中央区	7	2	4	9	12	9	11	5	3	0
南区	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
城南区	12	2	4	5	7	10	3	0	0	1
前原市	6	1	2	5	13	17	11	4	0	2
志摩町	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	57	1	0	0	0	0	0	0	0	2
無回答	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1
合計	196	37	33	66	124	120	99	41	16	9



10-3 . 現在の住居とのクロス集計

アパート・マンションの部屋代は4万～4.5万円未満が24%、4.5万～5万円未満が23%となっている。

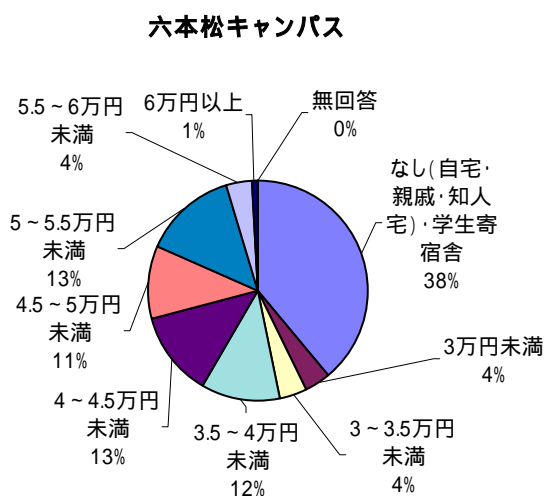
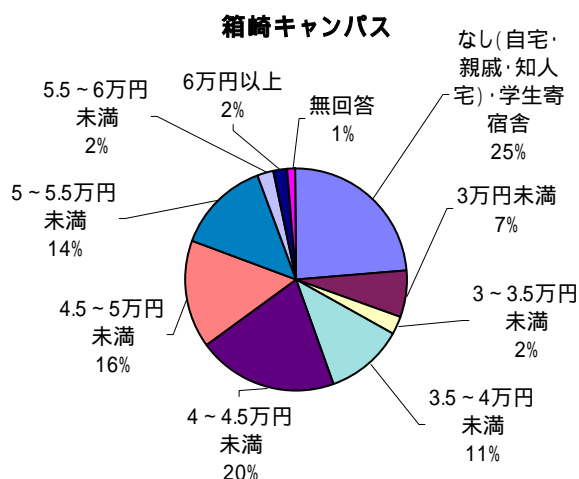
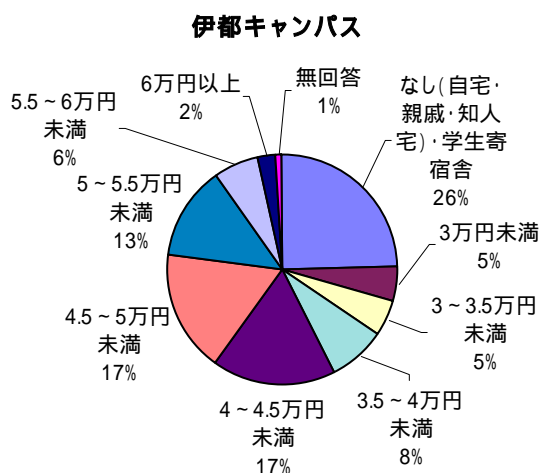
選択項目	なし(自宅・ 親戚・知人宅)・ 学生寄宿舍	3万円 未満	3 ～ 3.5万円 未満	3.5 ～ 4万円 未満	4 ～ 4.5万円 未満	4.5 ～ 5万円 未満	5 ～ 5.5万円 未満	5.5 ～ 6万円 未満	6万円 以上	無回答
自宅・親戚・知人宅	152	0	1	0	0	0	1	0	0	2
学生寄宿舍	31	10	0	0	0	1	0	1	0	2
国際交流会館	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
アパート・マンション	7	22	27	62	121	118	95	39	16	3
下宿	0	1	3	2	3	0	2	1	0	0
間借	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
無回答	3	1	0	0	0	1	1	0	0	2
合計	196	37	33	66	124	120	99	41	16	9



10-4 . 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

割合の高い4万～5.5万円までを一まとめにした場合、伊都キャンパスは47%、箱崎キャンパスは50%、六本松キャンパスは37%となっている。

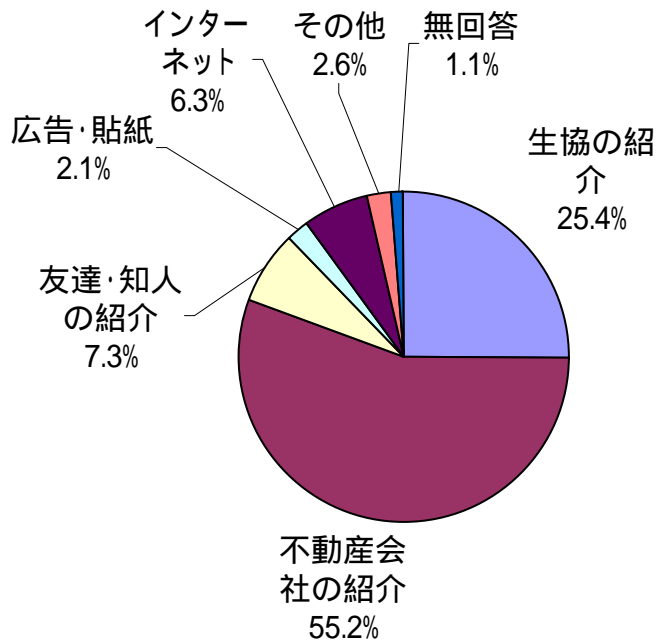
選択項目	なし(自宅・ 親戚・知人宅)・ 学生寄宿舍	3万円 未満	3 ~ 3.5万円 未満	3.5 ~ 4万円 未満	4 ~ 4.5万円 未満	4.5 ~ 5万円 未満	5 ~ 5.5万円 未満	5.5 ~ 6万円 未満	6万円 以上	無回答
伊都キャンパス	134	27	27	44	93	95	72	35	13	5
箱崎キャンパス	21	6	2	10	18	14	12	2	2	1
六本松キャンパス	40	4	4	12	13	11	14	4	1	0
筑紫キャンパス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大橋キャンパス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院キャンパス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	196	37	33	66	124	120	99	41	16	9



11. 現在の住居を探した方法

現在の住居をどのように探したかについては、不動産会社の紹介が56%で最も多く、ついで生協の紹介が25%で多い。

	回答数	構成比
生協の紹介	136	25.4%
不動産会社の紹介	296	55.2%
友達・知人の紹介	39	7.3%
広告・貼紙	11	2.1%
インターネット	34	6.3%
その他	14	2.6%
無回答	6	1.1%
計	536	100.0%



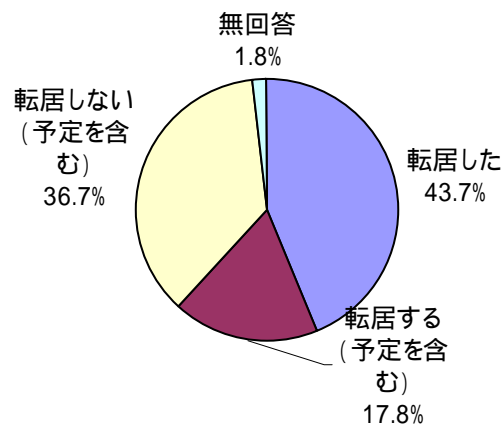
住居その他
身内の紹介（記述数：4）
歩いて探しに（記述数：2）
団地抽選
大学の紹介
大学の掲示板
雑誌
JICAの紹介

< キャンパス移転に伴う転居，予定について >

12. 伊都キャンパス移転に伴う転居

伊都キャンパスへ通学するために転居したか、転居予定かについては転居したが43%で最も多く、ついで転居しない（予定を含む）が37%で多い。

	回答数	構成比
転居した	324	43.7%
転居する（予定を含む）	132	17.8%
転居しない（予定を含む）	272	36.7%
無回答	13	1.8%
計	741	100.0%

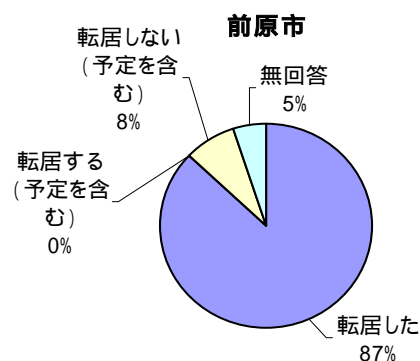
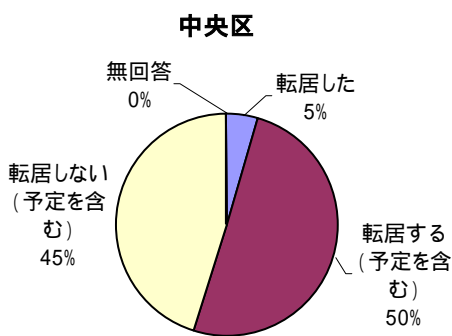
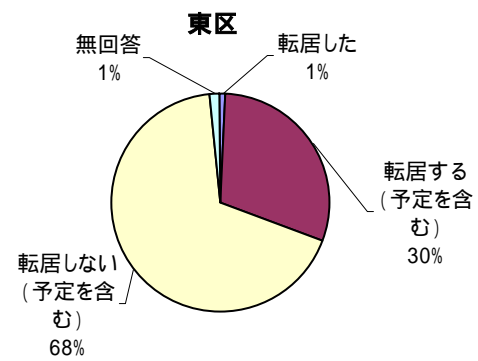
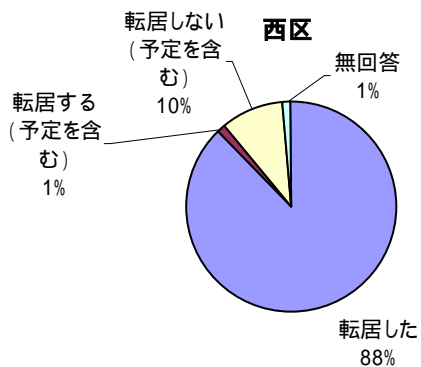
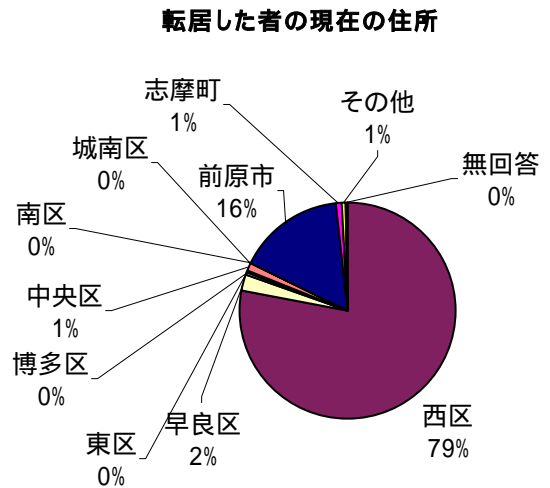


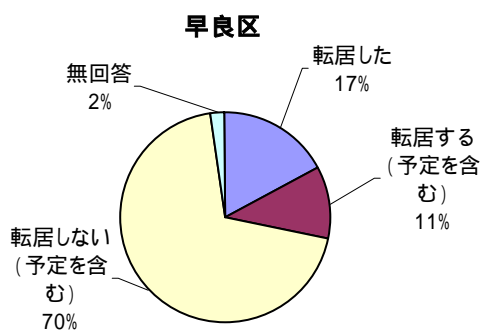
12-1. 現在の住所とのクロス集計

西区に居住している者の88%が、現在の住所に転居してきたと答えており、前原市においてもほぼ同様の結果となっている。東区に関しては、転居しないと答えた者の割合が68%となっている。中央区の場合は、50%が転居を予定していると回答している。

伊都キャンパスへのアクセスを考えて転居を行ったとも、自宅等が最初から所在していたとも考えられる早良区に関しては、転居したと答えた者が17%、転居予定であると答えた者が11%、転居しないと答えた者が70%となっている。

選択項目	転居した	転居する (予定を含む)	転居しない (予定を含む)	無回答
西区	253	4	28	3
早良区	8	5	32	1
東区	1	42	94	2
博多区	1	3	15	1
中央区	3	31	28	0
南区	0	5	8	0
城南区	0	22	22	0
前原市	53	0	5	3
志摩町	2	0	1	0
その他	2	19	37	2
無回答	1	1	2	1
合計	324	132	272	13

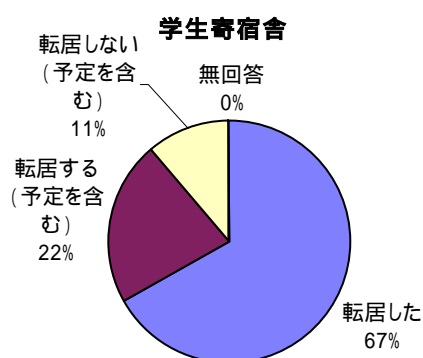
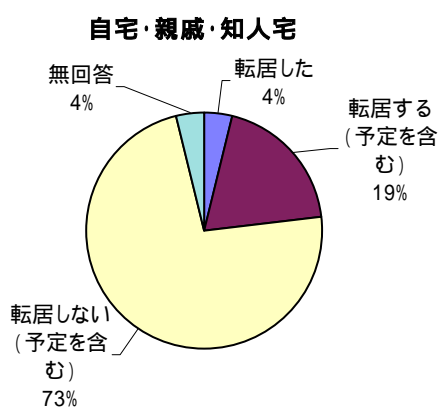




12-2. 現在の住居とのクロス集計

自宅・親戚・知人宅に居住している者の73%が、「転居しない」と回答している。また、学生寄宿舍に居住している者の67%が、転居してきたと回答している。なお、国際交流会館に居住する留学生は全員が「転居する」と回答している。

選択項目	転居した	転居する (予定を含む)	転居しない (予定を含む)	無回答
自宅・親戚・知人宅	6	30	114	6
学生寄宿舍	30	10	5	0
国際交流会館	0	3	0	0
アパート・マンション	279	83	144	4
下宿	4	4	4	0
間借	1	1	1	0
その他	2	0	1	1
無回答	2	1	3	2
合計	324	132	272	13



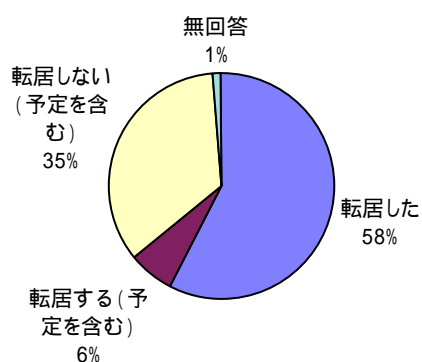
12-3 . 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

主に学んでいるキャンパスとして伊都キャンパスを選んだ者の58%が、すでに転居を完了している。転居しないと答えた者の割合は、35%にも上っている。箱崎を、主に学んでいるキャンパスであるとした者は、転居しないという選択肢を選んだ割合が59%となっている。六本松キャンパスで主に学んでいる者は、64%が転居の予定があるとしている。

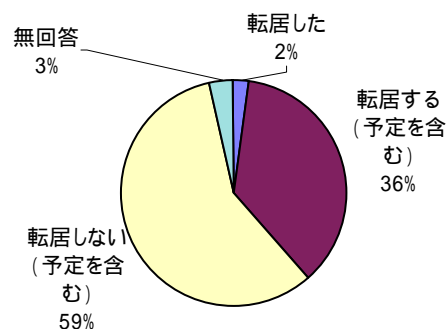
こうした結果の背景には、伊都、箱崎を主たるキャンパスとしているのが高学年であることが関係していると思われる。また、地理的状況や交通アクセスといった問題も存在していると考えられる。

選択項目	転居した	転居する (予定を含む)	転居しない (予定を含む)	無回答
伊都キャンパス	314	34	191	6
箱崎キャンパス	2	32	51	3
六本松キャンパス	6	66	30	1
筑紫キャンパス	0	0	0	0
大橋キャンパス	1	0	0	0
病院キャンパス	1	0	0	0
無回答	0	0	0	3
合計	324	132	272	13

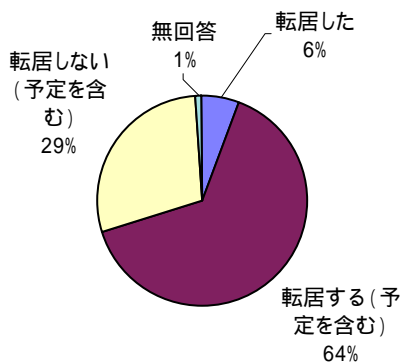
伊都キャンパス



箱崎キャンパス



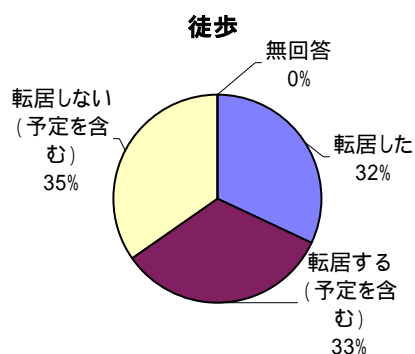
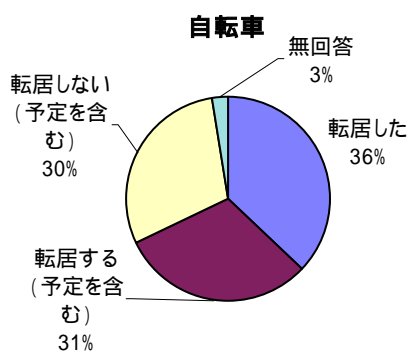
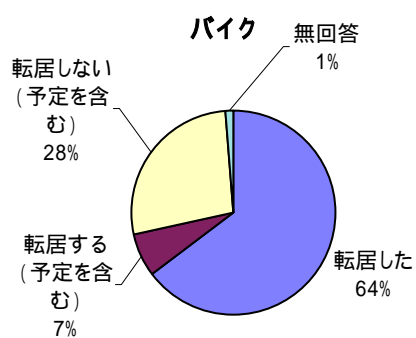
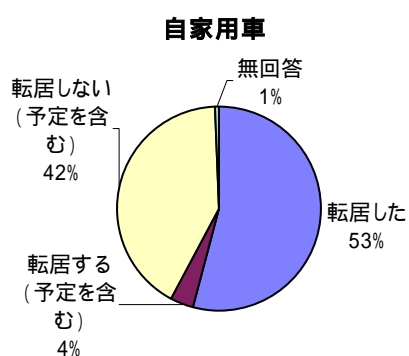
六本松キャンパス



12-4. 主に学んでいるキャンパスまでの通学方法とのクロス集計

通学方法と転居の有無の関係では、バイク通学者の64%、自家用車で通学する者の53%が「転居した」と回答している。また自転車、徒歩で通学する者に関しては、回答が割れている。

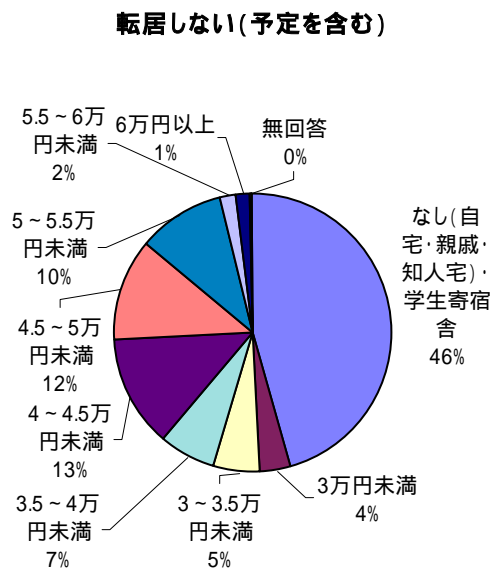
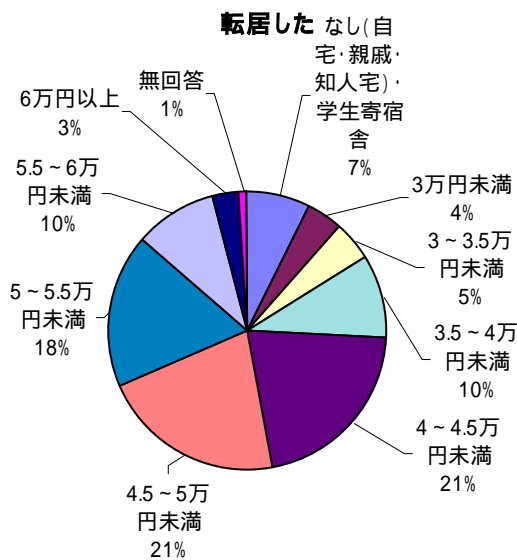
選択項目	転居した	転居する (予定を含む)	転居しない (予定を含む)	無回答
JR 筑肥線	6	7	21	0
JR 鹿児島本線	0	13	15	1
地下鉄	3	17	33	1
西鉄大牟田線	0	9	12	2
西鉄貝塚線	0	0	2	0
その他の鉄道	0	0	1	0
西鉄バス(エコルカード利用)	9	25	89	1
西鉄バス(エコルカード未利用)	0	3	5	0
昭和バス	30	4	21	1
自家用車	86	6	66	1
バイク	124	13	53	2
自転車	88	73	71	6
徒歩	25	26	27	0
生協バス	27	1	7	1
その他	1	0	5	0
無回答	0	0	2	2
合計	399	197	430	18



12-5. 1ヶ月の部屋代とのクロス集計

転居した者の部屋代の4万～5.5万円未満の割合は60%である。また、転居しないと回答した者の46%が「なし(自宅・親戚・知人宅)・学生寄宿舍」と答えている。

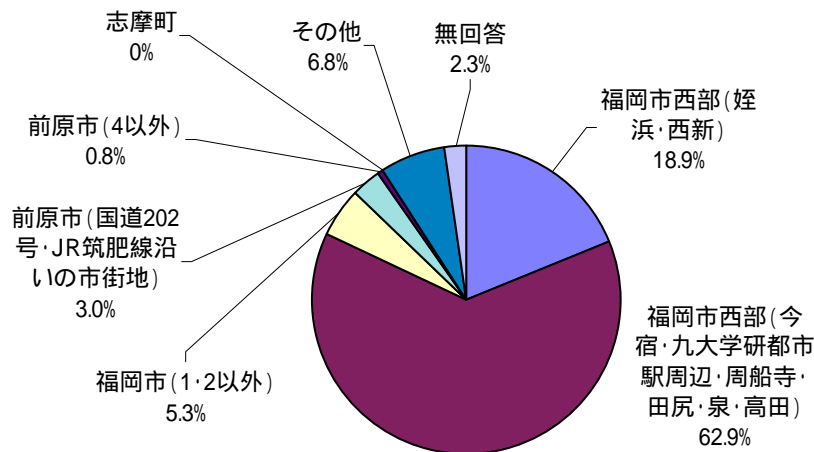
選択項目	転居した	転居する (予定を含む)	転居しない (予定を含む)	無回答
なし(自宅・親戚・知人宅)・学生寄宿舍	24	43	124	5
3万円未満	14	12	10	1
3～3.5万円未満	15	4	14	0
3.5～4万円未満	31	17	18	0
4～4.5万円未満	68	19	36	1
4.5～5万円未満	69	19	32	0
5～5.5万円未満	59	11	28	1
5.5～6万円未満	31	5	5	0
6万円以上	10	2	4	0
無回答	3	0	1	5
合計	324	132	272	13



13. 転居希望エリア

転居希望エリアは福岡市西部（今宿・九大学研都市駅周辺・周船寺・田尻・泉・高田）が63%で最も多く、ついで福岡市西部（姪浜・西新）が19%で多い。

	回答数	構成比
福岡市西部（姪浜・西新）	25	18.9%
福岡市西部（今宿・九大学研都市駅周辺・周船寺・田尻・泉・高田）	83	62.9%
福岡市（1・2以外）	7	5.3%
前原市（国道202号・JR筑肥線沿いの市街地）	4	3.0%
前原市（4以外）	1	0.8%
志摩町	0	0.0%
その他	9	6.8%
無回答	3	2.3%
計	132	100.0%

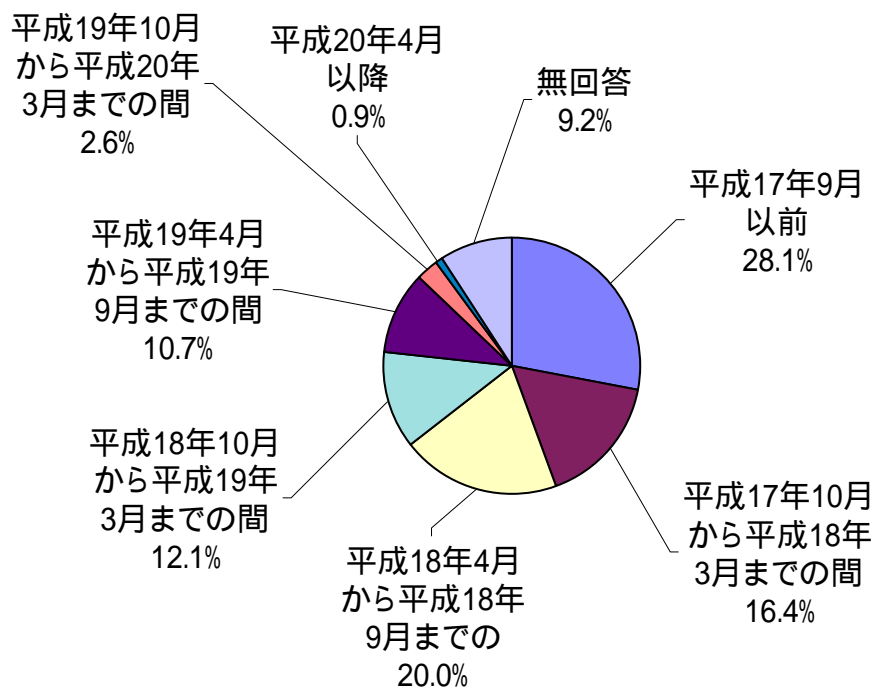


転居希望エリアその他
未定（記述数：2）
学生寄宿舍（記述数：2）
セトル伊都
より大学に近いところ
唐津市
博多
実家に戻る

14. 転居した又は転居を予定している時期

転居した時期，転居予定の時期については平成17年9月以前が28%で最も多い。ついで平成18年4月から平成18年9月までの間が20%が多い。

	回答数	構成比
平成17年9月以前	128	28.1%
平成17年10月から平成18年3月までの間	75	16.4%
平成18年4月から平成18年9月までの間	91	20.0%
平成18年10月から平成19年3月までの間	55	12.1%
平成19年4月から平成19年9月までの間	49	10.7%
平成19年10月から平成20年3月までの間	12	2.6%
平成20年4月以降	4	0.9%
無回答	42	9.2%
計	456	100.0%

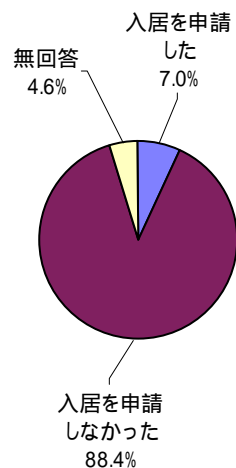


< 学生寄宿舍ドミトリー への入居について >

15. ドミトリー への入居申請の有無

ドミトリー に入居を申請したかについては、入居を申請しなかったが 88%で最も多く、ついで入居を申請したが 7%が多い。

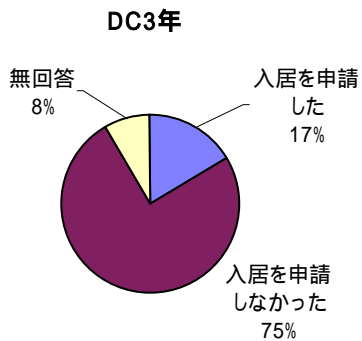
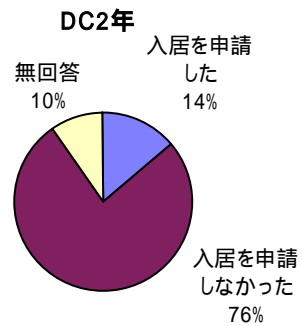
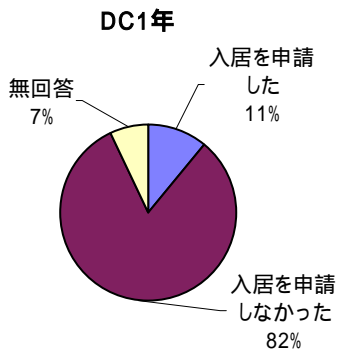
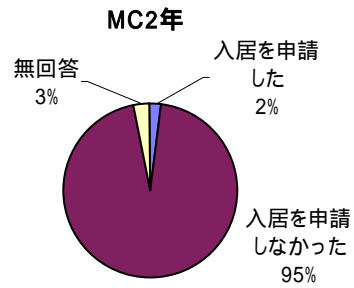
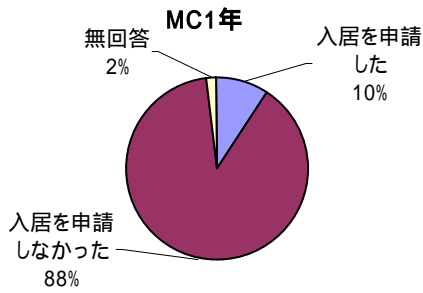
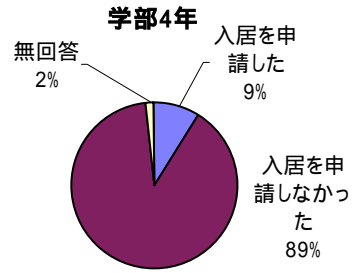
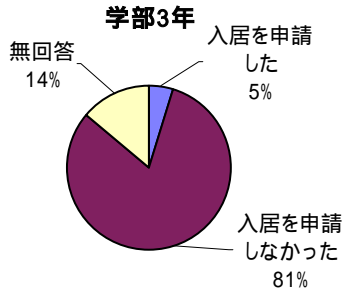
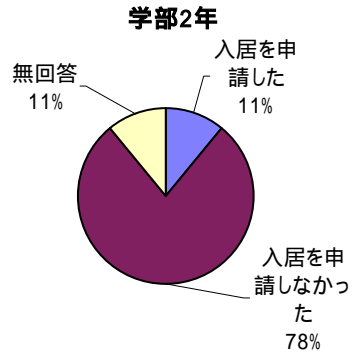
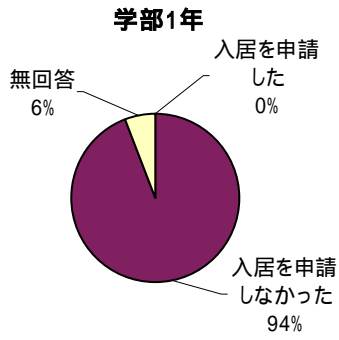
	回答数	構成比
入居を申請した	52	7.0%
入居を申請しなかった	655	88.4%
無回答	34	4.6%
計	741	100.0%



15-1. 学年とのクロス集計

学部2年では11%，MC1年では10%が入居を申請している。また，博士後期課程では入居申請者の割合が高く，DC1年が11%，DC2年が14%，DC3年が17%となっている。

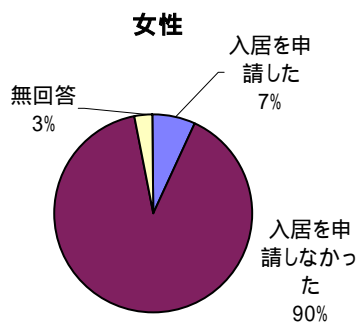
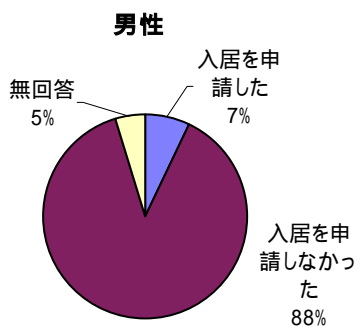
選択項目	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答
学部1年	0	98	6
学部2年	6	43	6
学部3年	2	35	6
学部4年	16	158	3
MC1年	15	139	3
MC2年	3	127	4
DC1年	3	23	2
DC2年	3	16	2
DC3年	2	9	1
研究生等	2	5	0
無回答	0	2	1
合計	52	655	34



15-2 . 性別とのクロス集計

入居を申請したのは男性・女性ともに7%であり，性別による違いは見られなかった。

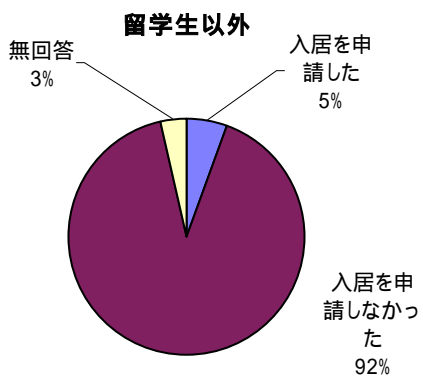
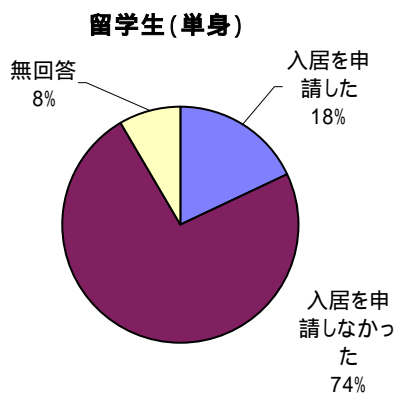
選択項目	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答
男性	47	590	31
女性	5	63	2
無回答	0	2	1
合計	52	655	34



15-3 . 留学生とのクロス集計

留学生（単身者）で入居の申請を行った者は 18%となっており，留学生以外の 5%より高い割合となっている。

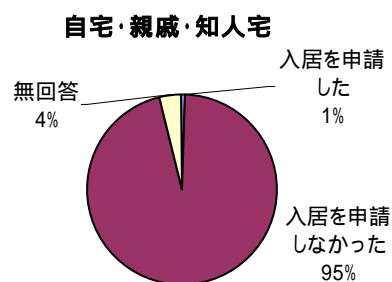
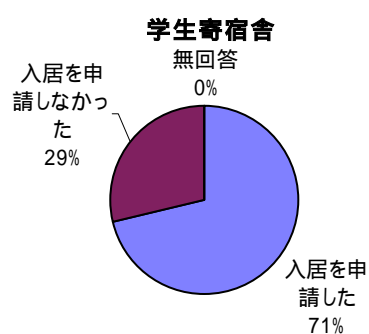
選択項目	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答
留学生（単身）	15	61	7
留学生（夫婦）	1	5	1
留学生（家族）	1	11	1
留学生以外	33	550	21
無回答	2	28	4
合計	52	655	34



15-4 . 現在の住居とのクロス集計

現在 ,ドミトリー を含む学生寄宿舍に居住している者のうち ,入居の申請を行った者は71%であった。また ,国際交流会館に居住していると回答した3人のうち2人が入居申請を行ったと答えている。なお ,自宅・親戚・知人宅に居住する者は95%が申請を行っていない。

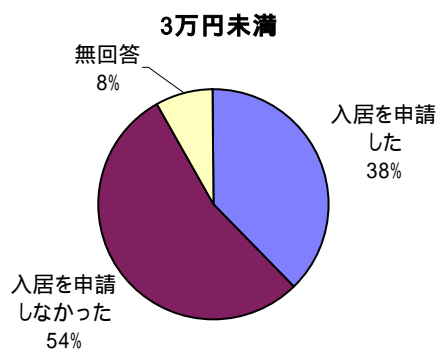
選択項目	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答
自宅・親戚・知人宅	1	149	6
学生寄宿舍	32	13	0
国際交流会館	2	1	0
アパート・マンション	15	472	23
下宿	0	10	2
間借	0	3	0
その他	0	3	1
無回答	2	4	2
合計	52	655	34



15-5 . 1ヶ月の部屋代とのクロス集計

住居の部屋代が3万円未満の者のうち ,申請を行った者の割合は38%と高くなっている。

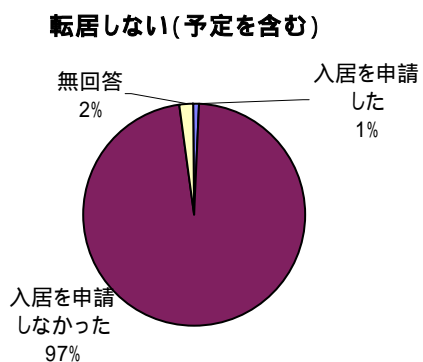
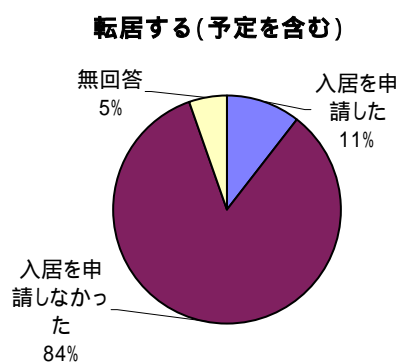
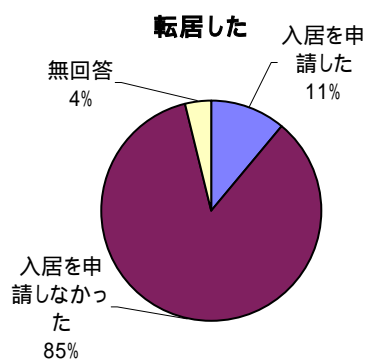
選択項目	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答
なし(自宅・親戚・知人宅)・学生寄宿舍	25	166	5
3万円未満	14	20	3
3~3.5万円未満	1	29	3
3.5~4万円未満	3	59	4
4~4.5万円未満	2	119	3
4.5~5万円未満	2	113	5
5~5.5万円未満	0	94	5
5.5~6万円未満	3	37	1
6万円以上	0	16	0
無回答	2	2	5
合計	52	655	34



15-6 . 伊都キャンパス移転に伴う転居とのクロス集計

転居した者，転居予定である者ともに 11%が申請を行ったと答えている。転居しないと回答した者のうち，入居の申請を行った者は 1%であった。

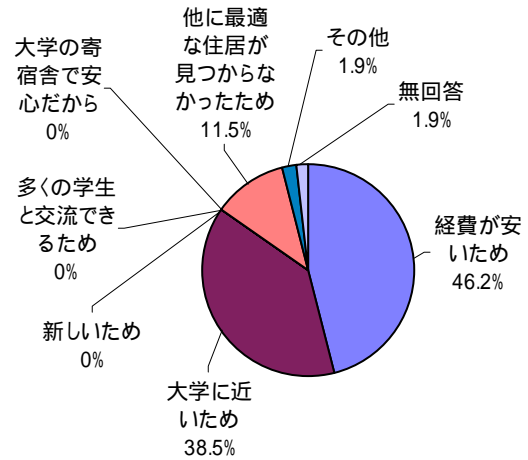
選択項目	入居を申請した	入居を申請しなかった	無回答
転居した	36	275	13
転居する（予定を含む）	14	111	7
転居しない（予定を含む）	2	265	5
無回答	0	4	9
合計	52	655	34



16. 入居を申請した理由

入居を申請した理由については、経費が安いための 46%で最も多く、ついで大学に近いための 38%が多い。

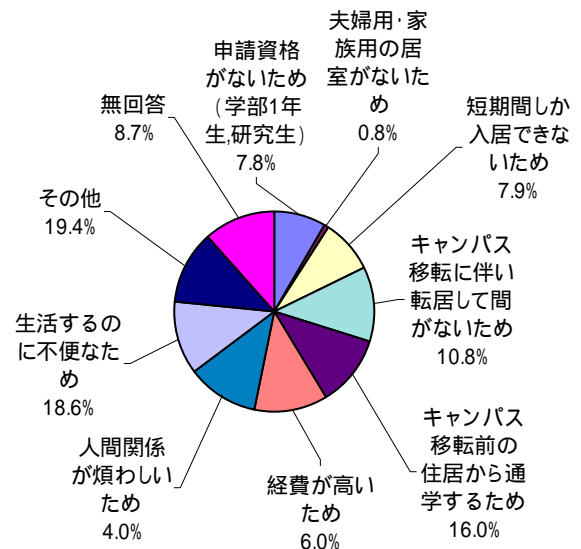
	回答数	構成比
経費が安い	24	46.2%
大学に近い	20	38.5%
新しい	0	0.0%
大学の寄宿舍で安心だから	0	0.0%
多くの学生と交流できる	0	0.0%
他に最適な住居が見つからなかった	6	11.5%
その他	1	1.9%
無回答	1	1.9%
計	52	100.0%



17. 入居を申請しなかった理由

入居を申請しなかった理由については、その他が 19%で最も多く、ついで生活するのに不便なための 19%が多い。

	回答数	構成比
申請資格がないため（学部1年生，研究生）	51	7.8%
夫婦用・家族用の居室がない	5	0.8%
短期間しか入居できない	52	7.9%
キャンパス移転に伴い転居して間がない	71	10.8%
キャンパス移転前の住居から通学するため	105	16.0%
経費が高い	39	6.0%
人間関係が煩わしい	26	4.0%
生活するのに不便な	122	18.6%
その他	127	19.4%
無回答	57	8.7%
計	655	100.0%



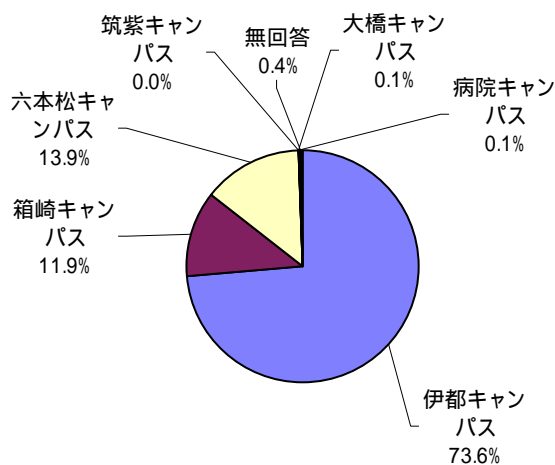
入居申請しなかった理由，その他（具体的に）	
知らなかった（記述数：35）	半年の辛抱だから
まだ完成していなかったから（記述数：11）	箱崎キャンパスに研究室があるため
卒業するから（記述数：10）	入居するメリットを一切感じなかったから
自宅のため（記述数：9）	二月以降に契約をする予定
転居するつもりがないから（記述数：5）	特に候補になかった
申請しても受からないだろうから（記述数：5）	都心にいたいから
狭い（記述数：5）	生協マンションに決めていたから
必要性を感じなかったから（記述数：4）	親の反対
周りに何もなくて不便だから（記述数：3）	申請期間が終わってた
興味がない（記述数：3）	田島寮・松原寮に比べ寮費が高いから
もともと近い所に住んでいたから（記述数：3）	在学中に転居したいので
友人やバイト先が遠い	現状に満足しているから
名前が変だから	月に1～3回の通学のため
部活に参加するのが難しくなるから	伊都に移りたくなかったため
不自由そうだから	引越経費，アパートの契約
伊都キャンパスに通学しないため	引越しを考え中
めんどくさい	
まだ住居探しをしていないため	

<キャンパスでの生活について>

18. 主に学んでいるキャンパス

主に学んでいるキャンパスについては，伊都キャンパスが74%で最も多く，ついで六本松キャンパスが14%で多い。

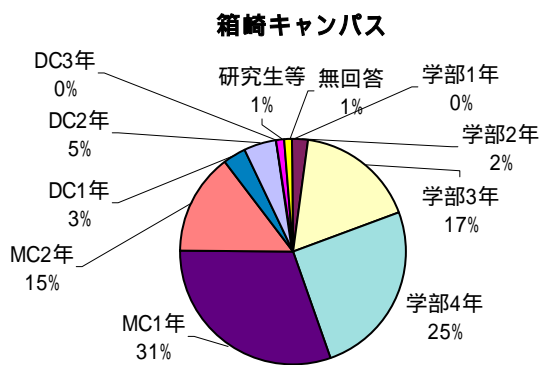
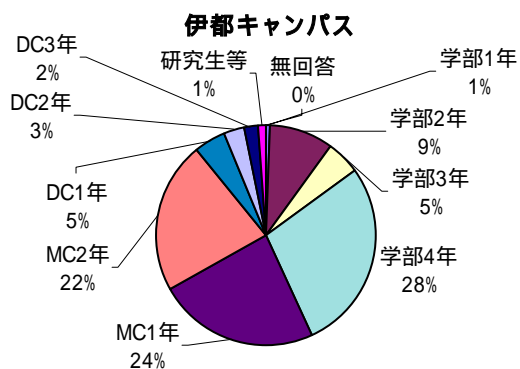
	回答数	構成比
伊都キャンパス	545	73.6%
箱崎キャンパス	88	11.9%
六本松キャンパス	103	13.9%
筑紫キャンパス	0	0.0%
大橋キャンパス	1	0.1%
病院キャンパス	1	0.1%
無回答	3	0.4%
計	741	100.0%



18-1. 学年とのクロス集計

主に学んでいるキャンパスを伊都キャンパスと答えた者は、「学部2年」「学部4年」「MC1年」「MC2年」の割合が、76%と高い。箱崎キャンパスと答えた者は、「学部3年」「学部4年」「MC1年」「MC2年」の割合が、88%で高い。六本松キャンパスと答えた者は、ほぼ「学部1年」で占められている。

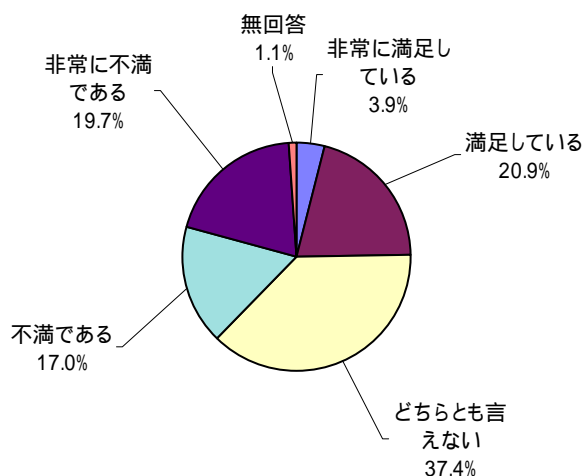
選択項目	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	MC1年	MC2年	DC1年	DC2年	DC3年	研究生等	無回答
伊都キャンパス	3	51	28	153	130	121	25	16	12	6	0
箱崎キャンパス	0	2	15	22	27	13	3	4	0	1	1
六本松キャンパス	101	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
筑紫キャンパス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大橋キャンパス	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
病院キャンパス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	104	55	43	177	157	134	28	21	12	7	3



19. キャンパスでの生活に満足

キャンパスでの生活に満足しているかについては、どちらとも言えないが37%で最も多く、ついで満足しているが21%で多い。

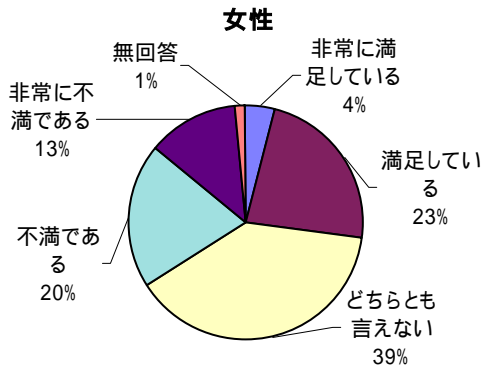
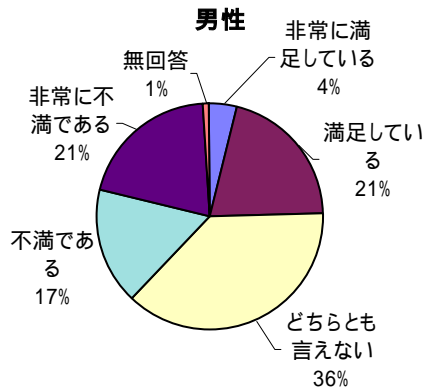
	回答数	構成比
非常に満足している	29	3.9%
満足している	155	20.9%
どちらとも言えない	277	37.4%
不満である	126	17.0%
非常に不満である	146	19.7%
無回答	8	1.1%
計	741	100.0%



19-1. 性別とのクロス集計

「満足している」は男性で21%、女性で23%であった。男女ともに同じような割合となっているが、「非常に不満である」と答えた男性の割合は21%と高くなっている。

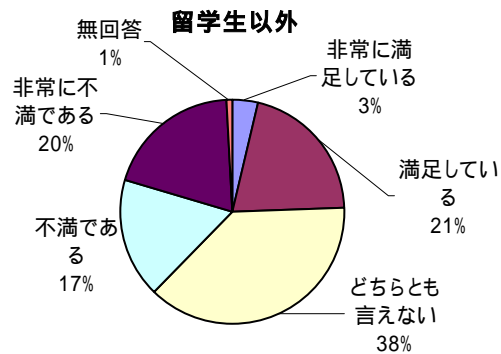
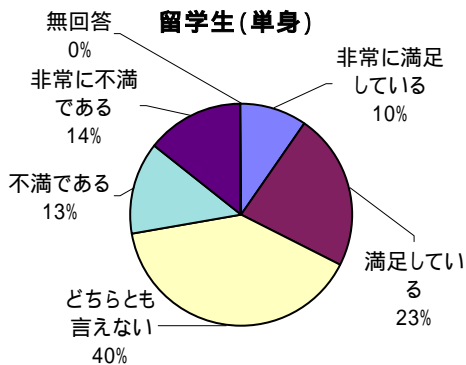
選択項目	非常に満足している	満足している	どちらとも言えない	不満である	非常に不満である	無回答
男性	26	139	249	111	137	6
女性	3	16	27	14	9	1
無回答	0	0	1	1	0	1
合計	29	155	277	126	146	8



19-2. 留学生とのクロス集計

留学生（単身者）で、「非常に満足している」と答えたものの割合は、留学生以外の3%より高く、10%となっている。また、「不満である」「非常に不満である」の割合も、それぞれ13%、14%となっており、留学生以外における割合よりも低くなっている。

選択項目	非常に満足している	満足している	どちらとも言えない	不満である	非常に不満である	無回答
留学生（単身）	8	19	33	11	12	0
留学生（夫婦）	0	2	2	1	2	0
留学生（家族）	0	2	6	2	3	0
留学生以外	21	127	228	105	118	5
無回答	0	5	8	7	11	3
合計	29	155	277	126	146	8

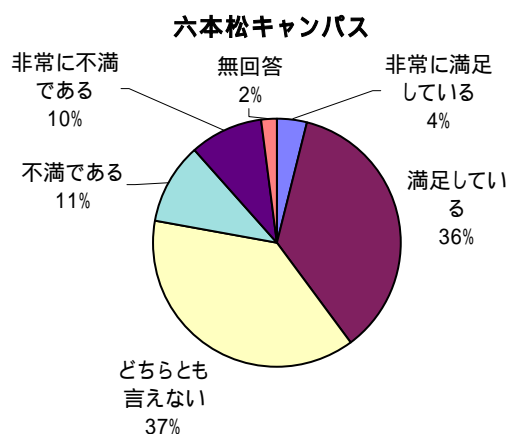
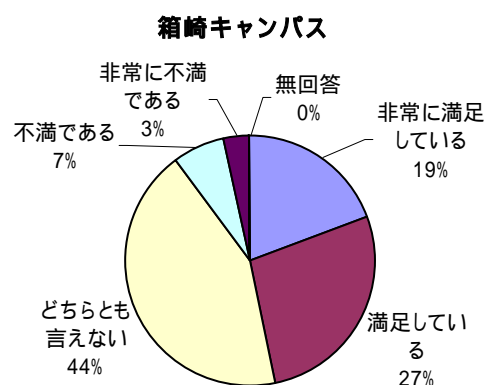
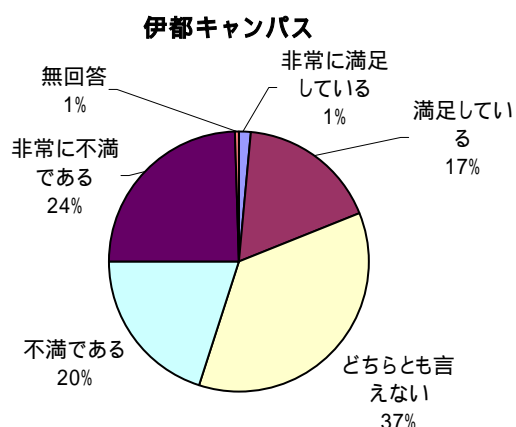


19-3 . 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

主に学んでいるキャンパスとして「伊都キャンパス」を選んだ人の中で、キャンパスでの生活に満足している人は非常に少ない。不満を感じている人の割合が、44%にのぼっている。

主に学んでいるキャンパスとして「箱崎キャンパス」「六本松キャンパス」を選んだ人の中で、キャンパスでの生活に満足している人の割合は40%近くに上り、伊都キャンパスとは非常に対照的な結果が出ている。

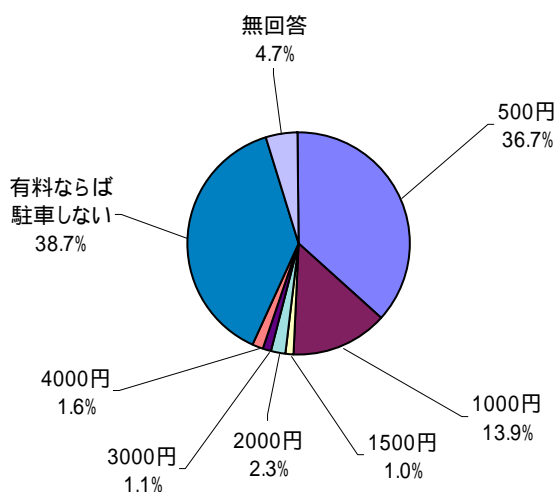
選択項目	非常に満足している	満足している	どちらとも言えない	不満である	非常に不満である	無回答
伊都キャンパス	8	94	197	109	132	3
箱崎キャンパス	17	24	38	6	3	0
六本松キャンパス	4	37	39	11	10	2
筑紫キャンパス	0	0	0	0	0	0
大橋キャンパス	0	0	0	0	1	0
病院キャンパス	0	0	1	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	3
合計	29	155	275	126	146	8



20. 学内の駐車場が有料化された場合の月額

学内の駐車場が有料化された場合，月額いくら位が妥当かについては，有料ならば駐車しないが38%で最も多く，ついで500円が37%で多い。

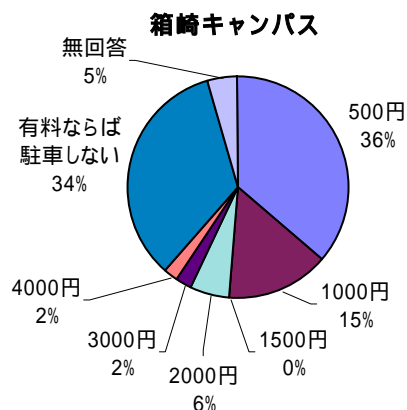
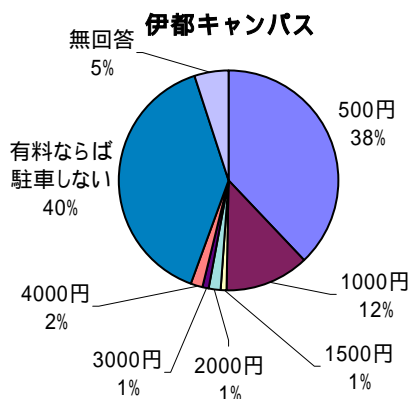
	回答数	構成比
500円	272	36.7%
1000円	103	13.9%
1500円	7	1.0%
2000円	17	2.3%
3000円	8	1.1%
4000円	12	1.6%
有料ならば 駐車しない	287	38.7%
無回答	35	4.7%
計	741	100.0%

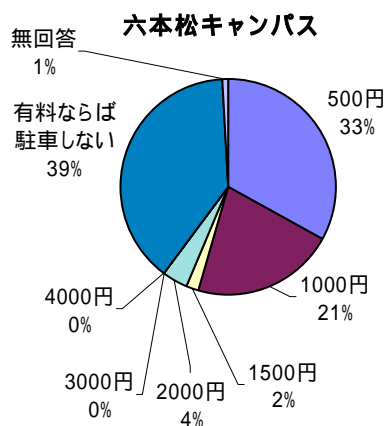


20-1. 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

「有料ならば駐車しない」は伊都で40%，箱崎で34%，六本松で39%に上り，「500円」と回答した者の割合は伊都で38%，箱崎で36%，六本松で33%に上り，ほぼ同じ程度存在する。

選択項目	500円	1000円	1500円	2000円	3000円	4000円	有料ならば駐車しない	無回答
伊都キャンパス	206	68	5	8	6	10	215	27
箱崎キャンパス	32	13	0	5	2	2	30	4
六本松キャンパス	34	22	2	4	0	0	40	1
筑紫キャンパス	0	0	0	0	0	0	0	0
大橋キャンパス	0	0	0	0	0	0	1	0
病院キャンパス	0	0	0	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	272	103	7	17	8	12	287	35

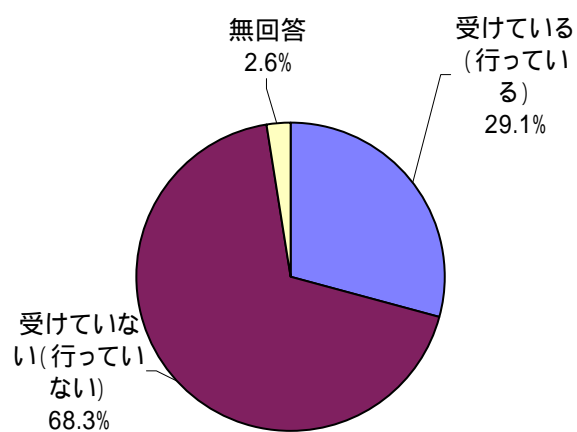




21. 主に学んでいるキャンパス以外のキャンパスでの授業（研究）等の受講

主に学んでいるキャンパス以外のキャンパスで、授業（研究）等を受けているかについては、受けていない（行っていない）が68%で最も多く、ついで受けている（行っている）が29%で多い。

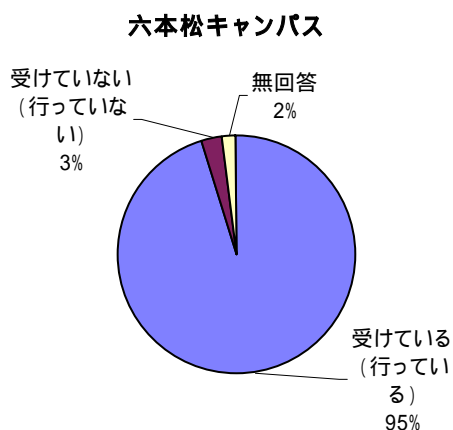
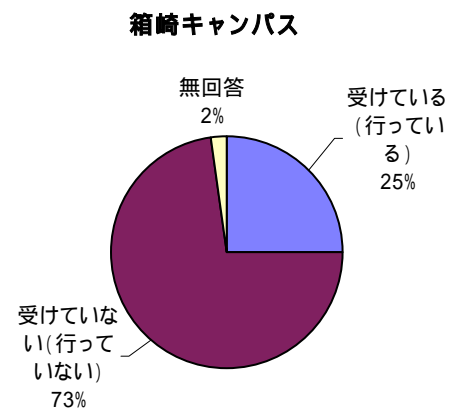
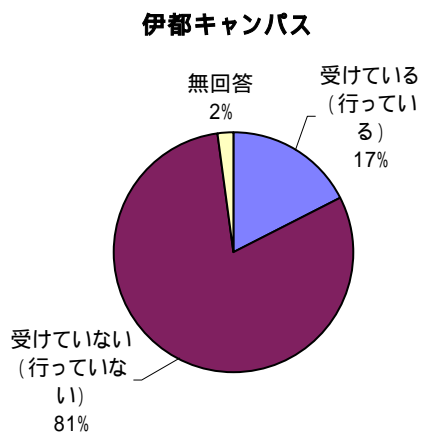
	回答数	構成比
受けている（行っている）	216	29.1%
受けていない（行っていない）	506	68.3%
無回答	19	2.6%
計	741	100.0%



21-1. 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

伊都，箱崎に比べ，六本松は，主に学んでいるキャンパス以外で授業等を受けていると答えた者の割合は95%とかなり高い。六本松キャンパスを，主に学んでいるキャンパスと答えた学生は，ほぼ「学部1年」で占められていることから，こういった回答が得られたと考えることができる。

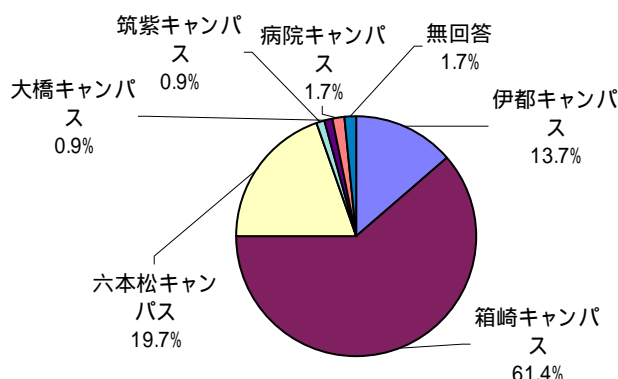
選択項目	受けている（行っている）	受けていない（行っていない）	無回答
伊都キャンパス	95	438	12
箱崎キャンパス	22	64	2
六本松キャンパス	98	3	2
筑紫キャンパス	0	0	0
大橋キャンパス	1	0	0
病院キャンパス	0	1	0
無回答	0	0	3
合計	216	506	19



22. 主に学んでいるキャンパス以外で授業等を受けているキャンパス（複数回答可）

主に学んでいるキャンパス以外で授業等を受けているのは、どのキャンパスかについては、箱崎キャンパスが61%で最も多く、ついで六本松キャンパスが20%で多い。

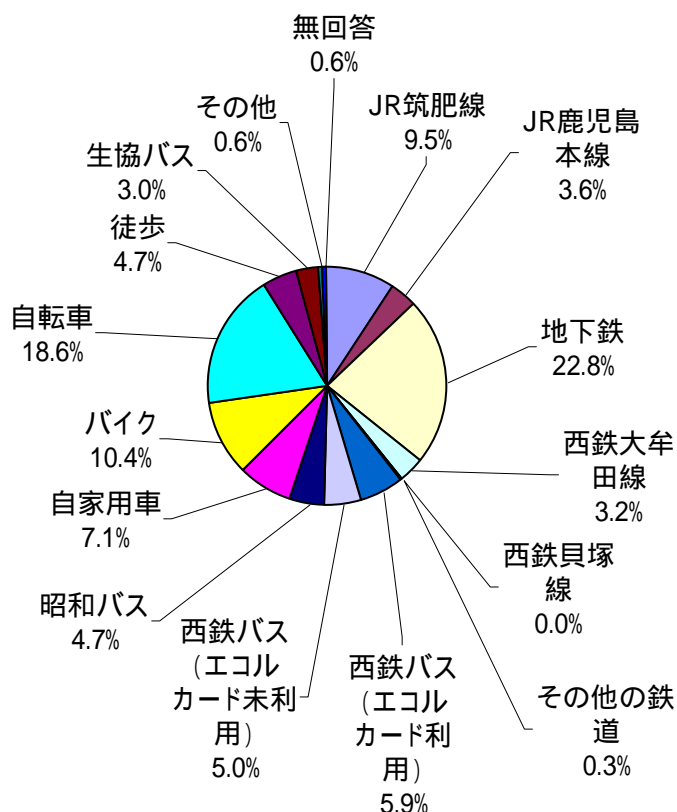
	回答数	構成比
伊都キャンパス	32	13.7%
箱崎キャンパス	143	61.4%
六本松キャンパス	46	19.7%
筑紫キャンパス	2	0.9%
大橋キャンパス	2	0.9%
病院キャンパス	4	1.7%
無回答	4	1.7%
計	233	100.0%



23. 主に学んでいるキャンパス以外のキャンパスへの主な通学方法（複数回答可）

主に学んでいるキャンパス以外のキャンパスへの主な通学方法については、地下鉄が22%で最も多く、ついで自転車が19%で多い。

	回答数	構成比
JR 筑肥線	32	9.5%
JR 鹿児島本線	12	3.6%
地下鉄	77	22.8%
西鉄大牟田線	11	3.2%
西鉄貝塚線	0	0.0%
その他の鉄道	1	0.3%
西鉄バス（エコルカード利用）	20	5.9%
西鉄バス（エコルカード未利用）	17	5.0%
昭和バス	16	4.7%
自家用車	24	7.1%
バイク	35	10.4%
自転車	63	18.6%
徒歩	16	4.7%
生協バス	10	3.0%
その他	2	0.6%
無回答	2	0.6%
計	338	100.0%

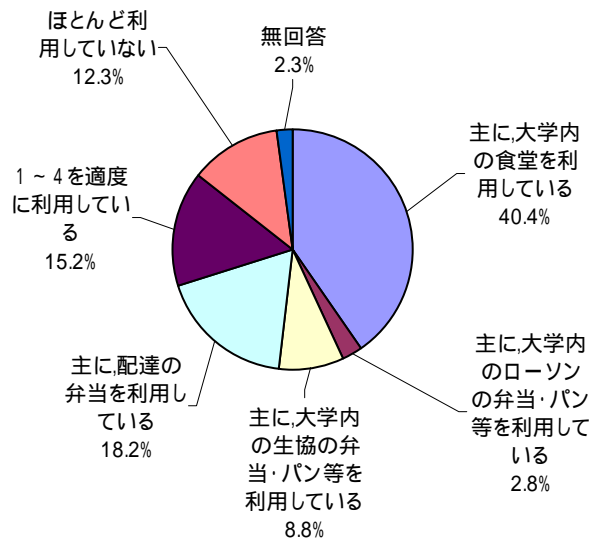


主に学んでいるキャンパス以外のキャンパスへの主な通学方法その他
新幹線
キャンパス間バス

24. キャンパスでの食事

キャンパスでの食事はどうしているかについては、主に大学内の食堂を利用しているが、41%で最も多く、ついで主に配達の弁当を利用しているが、18%が多い。

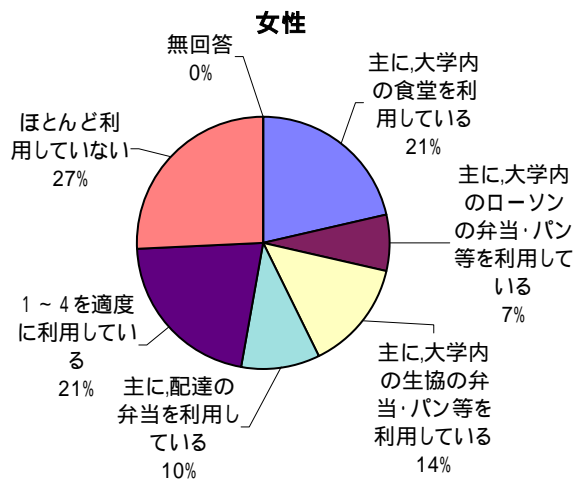
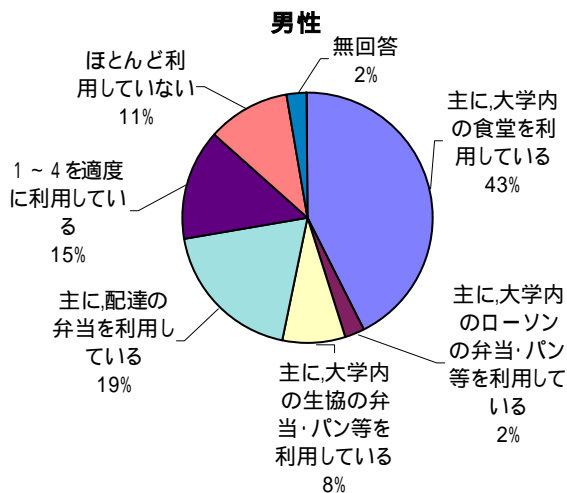
	回答数	構成比
主に、大学内の食堂を利用している	299	40.4%
主に、大学内のローソンの弁当・パン等を利用している	21	2.8%
主に、大学内の生協の弁当・パン等を利用している	65	8.8%
主に、配達の弁当を利用している	135	18.2%
1～4を適度に利用している	113	15.2%
ほとんど利用していない	91	12.3%
無回答	17	2.3%
計	741	100.0%



24-1. 性別とのクロス集計

主に大学内の食堂を利用すると答えたのは、男性が43%、女性が21%であり、大きな差が表れている。また、女性においては大学内の生協の弁当・パンを利用するという回答が14%と比較的高く、「ほとんど利用していない」という回答も27%に上っている。

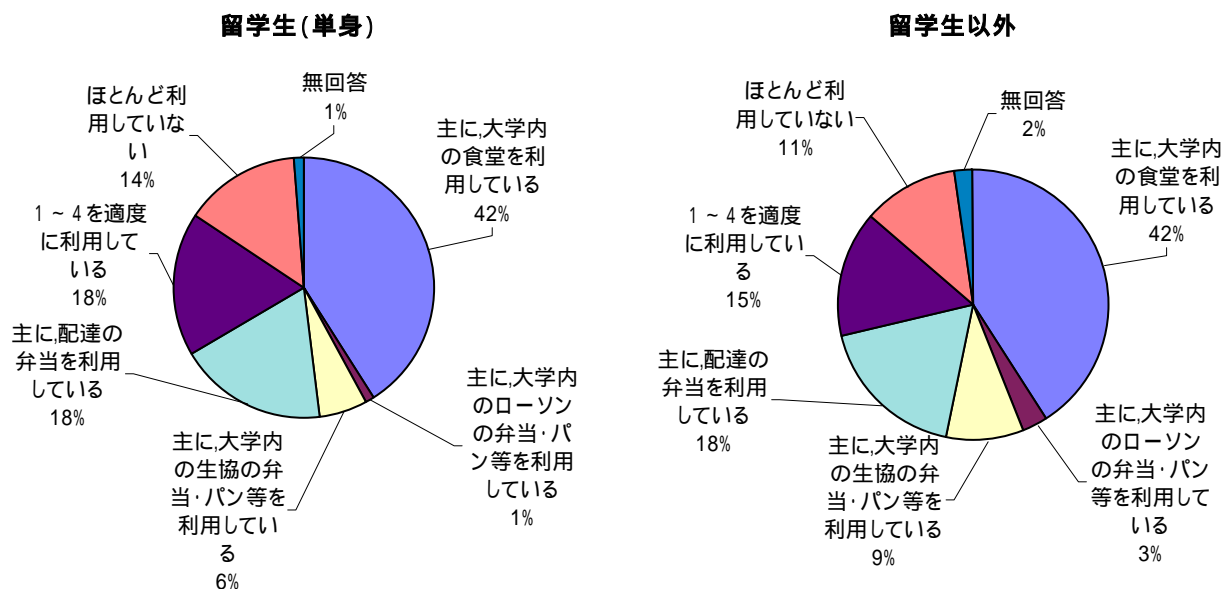
選択項目	大学内の食堂	大学内のローソン	大学内の生協	配達の弁当	1～4を適度に利用している	ほとんど利用していない	無回答
男性	284	16	55	127	97	73	16
女性	15	5	10	7	15	18	0
無回答	0	0	0	1	1	0	1
合計	299	21	65	135	113	91	17



24-2. 留学生とのクロス集計

キャンパスでの食事に関しては、主に大学内の食堂を利用している割合が、留学生（単身者）、留学生以外ともに42%で一番高く、その他も際だって差はない。

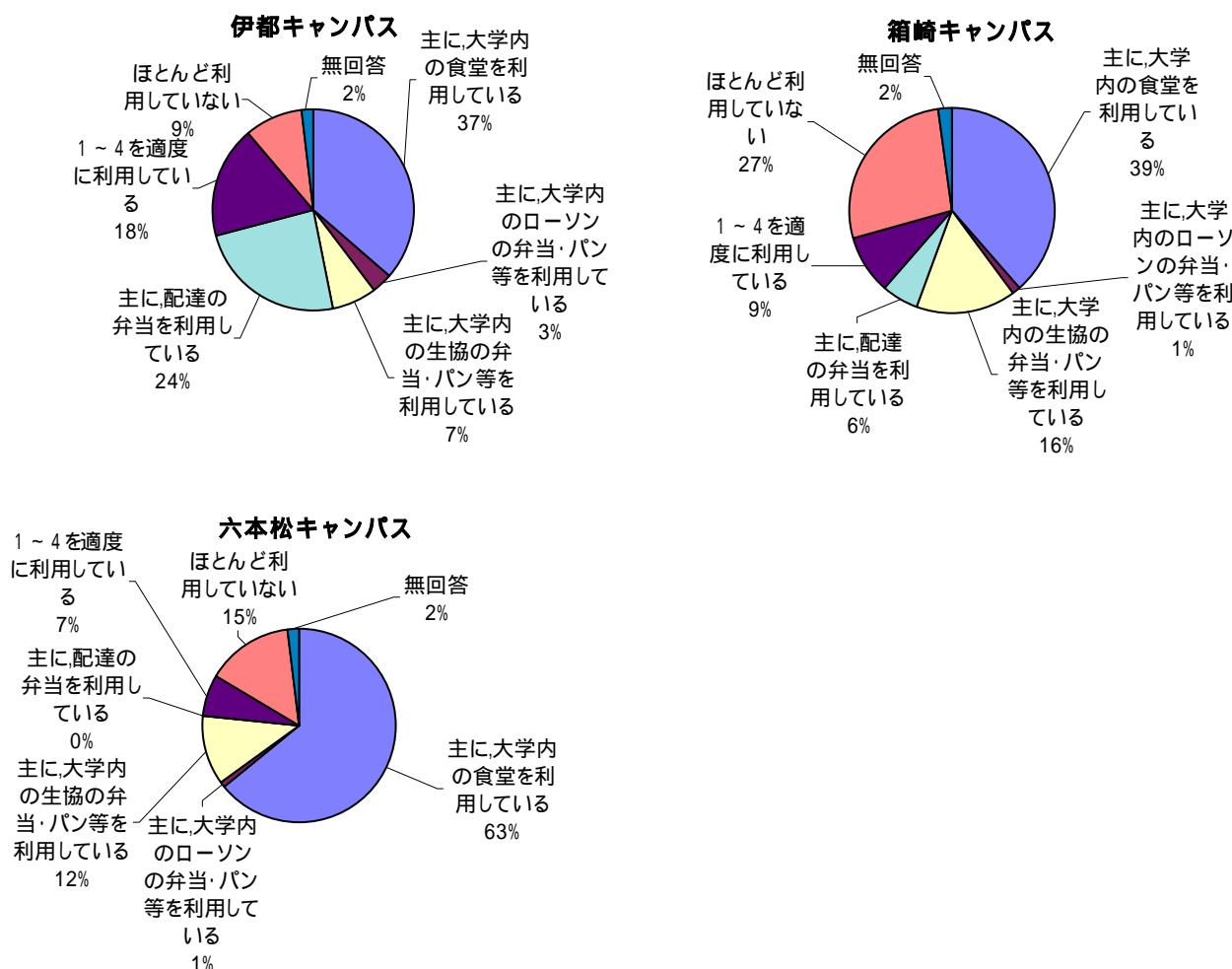
選択項目	大学内の食堂	大学内のローソン	大学内の生協	配達の弁当	1～4を 適度に利用している	ほとんど 利用していない	無回答
留学生（単身）	34	1	5	15	15	12	1
留学生（夫婦）	2	0	0	1	0	4	0
留学生（家族）	5	0	1	1	1	4	1
留学生以外	246	19	55	110	92	69	13
無回答	12	1	4	8	5	2	2
合計	299	21	65	135	113	91	17



24-3. 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

主に伊都キャンパスで学んでいる人たちは、大学内の食堂と配達の弁当を利用していると回答した割合が61%で高い。選択肢にある4つの方法のどれも利用していないと答えている割合は9%である。箱崎キャンパスは、大学内の食堂と生協の弁当とパンを利用していると回答した割合が55%と高く、どれも利用していないと答えている割合は27%となっている。六本松では、大学内の食堂を利用すると答えた割合が63%で圧倒的に高く、4つの方法のどれもまったく利用しないと答えているのは15%となっている。こうした回答傾向の背景には、学んでいる学生の学年が関わっていると考えられるのと同時に、伊都キャンパスの周囲の整備がまだ不十分であることを示していると思われる。

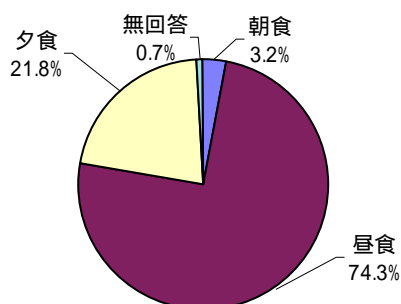
選択項目	大学内の食堂	大学内のローソン	大学内の生協	配達の弁当	1～4を適度に利用している	ほとんど利用していない	無回答
伊都キャンパス	198	19	39	130	98	51	10
箱崎キャンパス	34	1	14	5	8	24	2
六本松キャンパス	66	1	12	0	7	15	2
筑紫キャンパス	0	0	0	0	0	0	0
大橋キャンパス	0	0	0	0	0	1	0
病院キャンパス	1	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	3
合計	299	21	65	135	113	91	17



25. 大学内の施設等で利用している食事の区分（複数回答可）

利用しているのは、朝食・昼食・夕食のいずれかについては昼食が74%で最も多く、ついで、夕食が22%で多い。

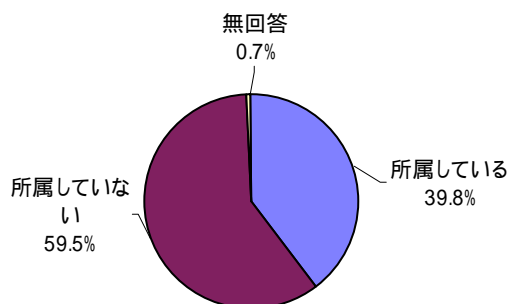
	回答数	構成比
朝食	26	3.2%
昼食	606	74.3%
夕食	178	21.8%
無回答	6	0.7%
計	816	100.0%



26. 課外活動サークルへの所属

課外活動サークルに所属しているかについては、所属していないが59%で最も多く、ついで所属しているが40%である。

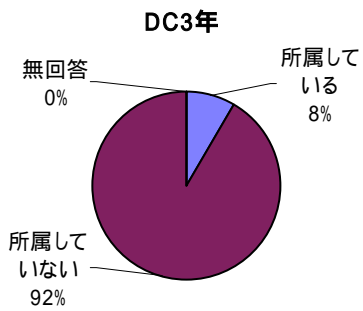
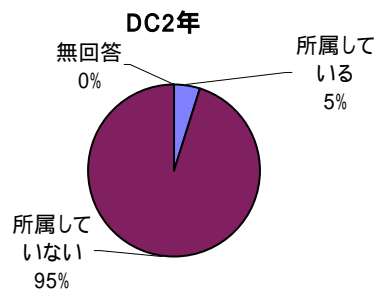
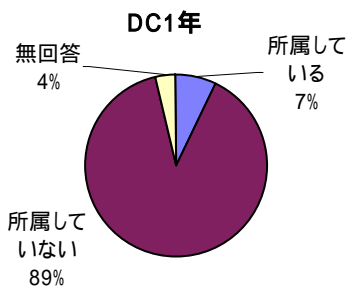
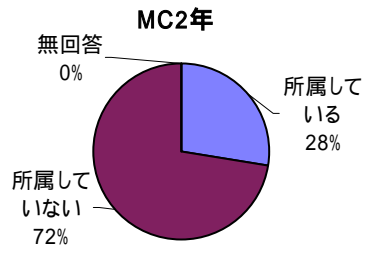
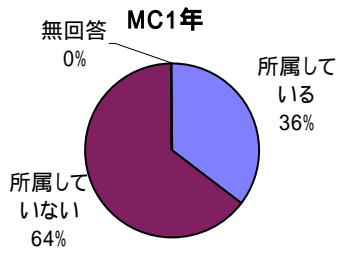
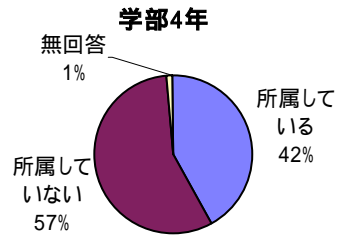
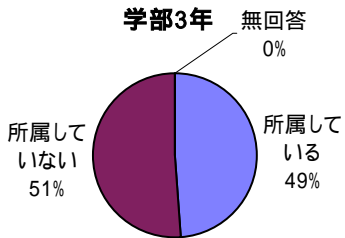
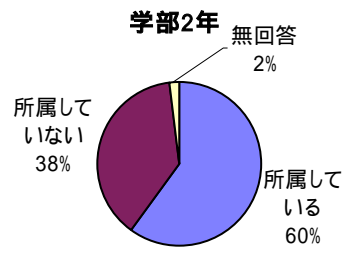
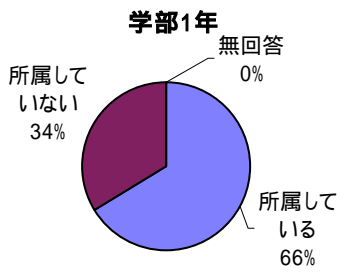
	回答数	構成比
所属している	295	39.8%
所属していない	441	59.5%
無回答	5	0.7%
計	741	100.0%



26-1. 学年とのクロス集計

課外活動サークルに参加する者は、学部1年が66%、学部2年が60%、学部3年が49%、学部4年が42%と、学年が進むにつれて少なくなっている。

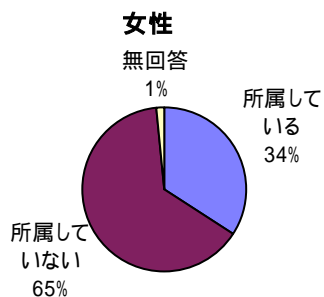
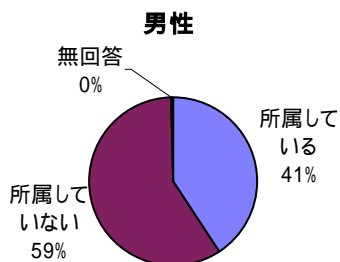
選択項目	所属している	所属していない	無回答
学部1年	69	35	0
学部2年	33	21	1
学部3年	21	22	0
学部4年	74	101	2
MC1年	56	101	0
MC2年	37	97	0
DC1年	2	25	1
DC2年	1	20	0
DC3年	1	11	0
研究生等	1	6	0
無回答	0	2	1
合計	295	441	5



26-2 . 性別とのクロス集計

課外活動サークルへの所属は、男性が 41%、女性が 34%であった。

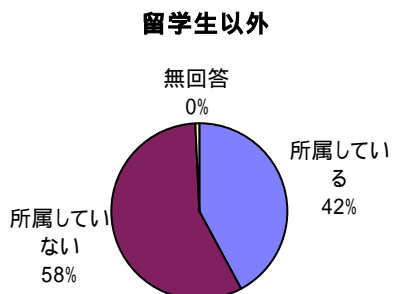
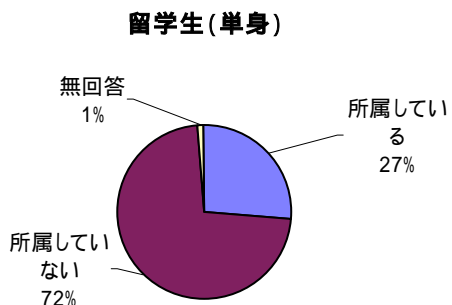
選択項目	所属している	所属していない	無回答
男性	271	394	3
女性	24	45	1
無回答	0	2	1
合計	295	441	5



26-3 . 留学生とのクロス集計

課外活動サークルに所属している留学生（単身者）は 27%、留学生以外は 42%であった。

選択項目	所属している	所属していない	無回答
留学生（単身）	22	60	1
留学生（夫婦）	1	6	0
留学生（家族）	3	10	0
留学生以外	255	346	3
無回答	14	19	1
合計	295	441	5



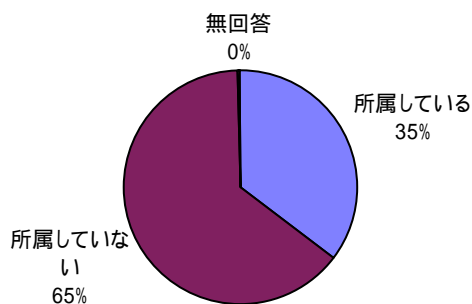
26-4 . 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

主に伊都，箱崎で学んでいると回答した学生は，課外活動サークルに所属していないと回答した割合が65%，61%とかなり高い。だが，六本松キャンパスで学んでいると回答した学生は，課外活動サークルに所属していると回答した割合が逆に66%と高い。

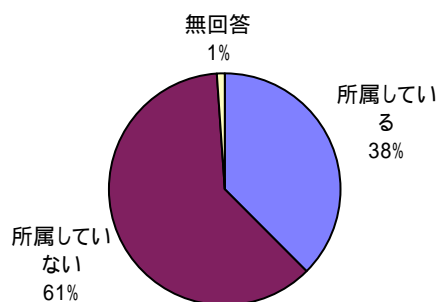
こうした回答傾向の背景には，主に六本松キャンパスで学んでいると答えた回答者が，「学部 1 年」で占められているということが関係していると思われる。

選択項目	所属している	所属していない	無回答
伊都キャンパス	192	352	1
箱崎キャンパス	33	54	1
六本松キャンパス	68	35	0
筑紫キャンパス	0	0	0
大橋キャンパス	1	0	0
病院キャンパス	1	0	0
無回答	0	0	3
合計	295	441	5

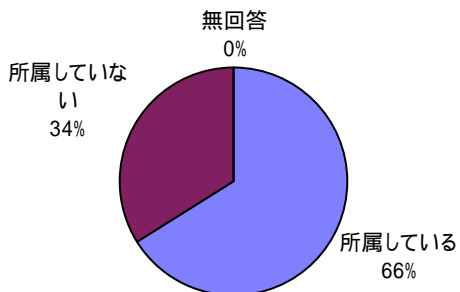
伊都キャンパス



箱崎キャンパス



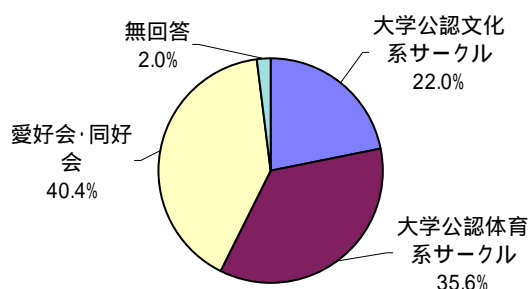
六本松キャンパス



27. 所属する課外活動サークルの区分

どのような課外活動サークルかについては、愛好会・同好会 40%で最も多く、ついで大学公認体育系サークルが 36%で多い。

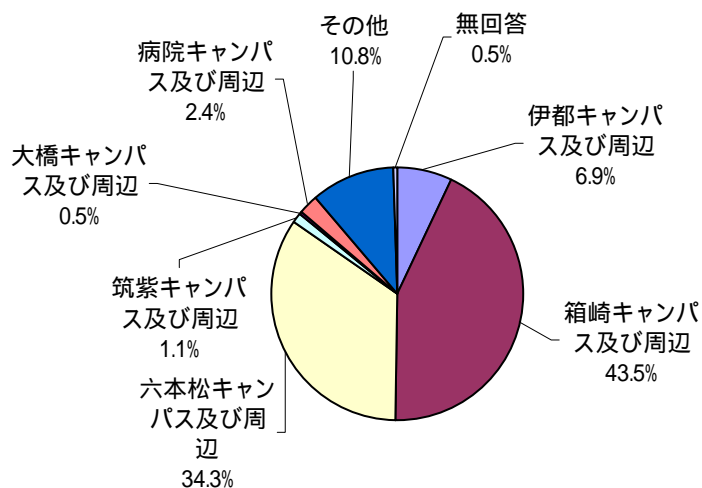
	回答数	構成比
大学公認文化系サークル	65	22.0%
大学公認体育系サークル	105	35.6%
愛好会・同好会	119	40.4%
無回答	6	2.0%
計	295	100.0%



28. 課外活動サークルの活動場所（複数回答可）

活動場所がどこかについては、箱崎キャンパス及び周辺が 43%で最も多く、ついで六本松キャンパス及び周辺が 34%で多い。

	回答数	構成比
伊都キャンパス及び周辺	26	6.9%
箱崎キャンパス及び周辺	165	43.5%
六本松キャンパス及び周辺	130	34.3%
筑紫キャンパス及び周辺	4	1.1%
大橋キャンパス及び周辺	2	0.5%
病院キャンパス及び周辺	9	2.4%
その他	41	10.8%
無回答	2	0.5%
計	379	100.0%

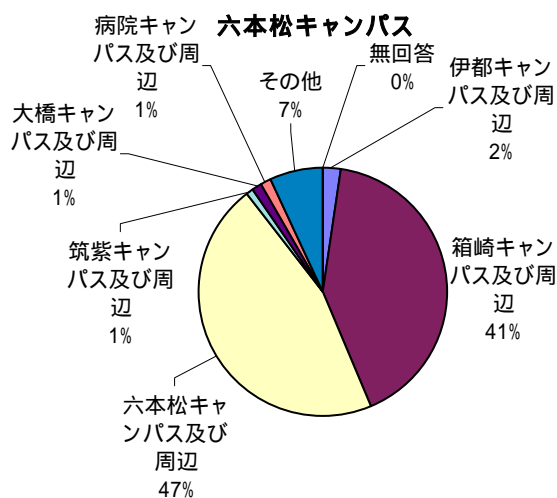
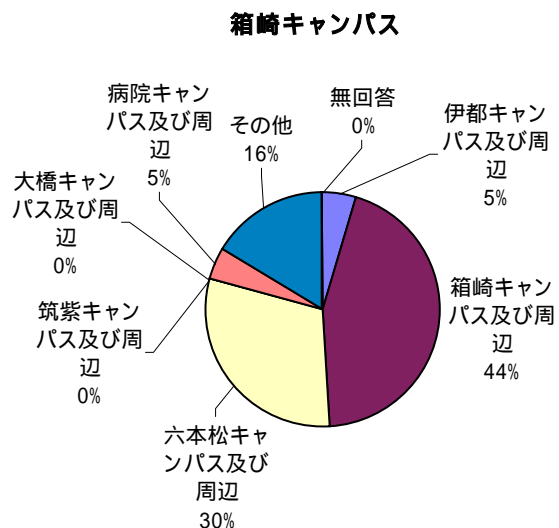
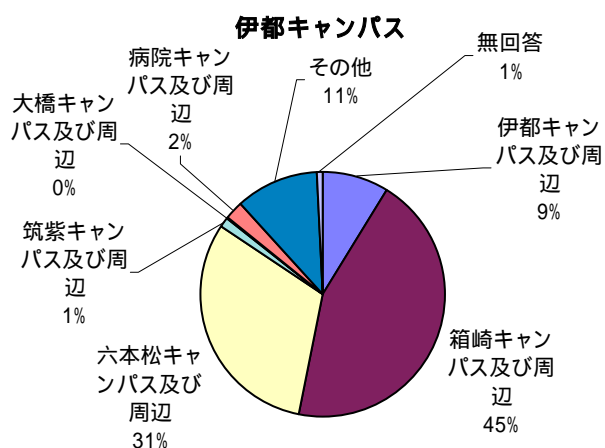


活動場所その他		
市民体育館（記述数：5）	舞鶴公園	新宮町
いろんなところ（記述数：4）	百道	市の公共施設
雁ノ巣レクリエーションセンター（記述数：3）	博多，赤坂，香椎	県外
山（記述数：2）	東区	学外
姪の浜周辺	天神	各区の体育館
福重	大分，熊本	海
福岡女子大学	神社	

28-1. 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

伊都キャンパスの学生であっても、課外活動サークルの活動場所はほとんどが箱崎周辺との回答が45%、六本松周辺との回答が31%である。

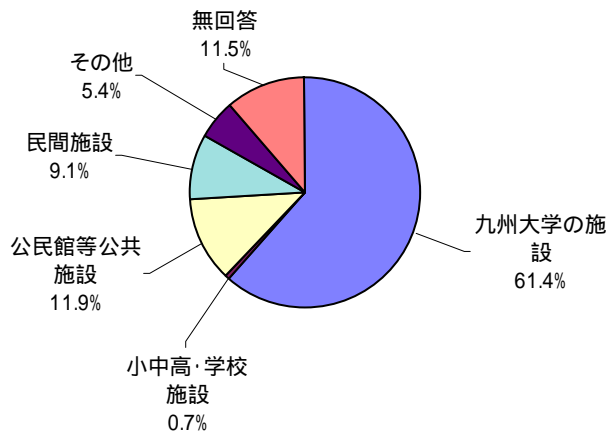
選択項目	伊都 キャンパス	箱崎 キャンパス	六本松 キャンパス	筑紫 キャンパス	大橋 キャンパス	病院 キャンパス	無回答
伊都キャンパス及び周辺	22	2	2	0	0	0	0
箱崎キャンパス及び周辺	110	19	35	0	0	1	0
六本松キャンパス及び周辺	78	13	39	0	0	0	0
筑紫キャンパス及び周辺	3	0	1	0	0	0	0
大橋キャンパス及び周辺	1	0	1	0	0	0	0
病院キャンパス及び周辺	6	2	1	0	0	0	0
その他	27	7	6	0	1	0	0
無回答	2	0	0	0	0	0	0
合計	249	43	85	0	1	1	0



29. 課外活動サークルの活動施設

活動施設はどこかについては、九州大学の施設が 61%で最も多く、ついで公民館等公共施設が 12%で多い。

	回答数	構成比
九州大学の施設	181	61.4%
小中高・学校施設	2	0.7%
公民館等公共施設	35	11.9%
民間施設	27	9.1%
その他	16	5.4%
無回答	34	11.5%
計	295	100.0%



活動施設：公民館等公共施設

市民体育館（記述数：7）
 今津運動公園（記述数：3）
 名島運動公園
 滑空場
 グラウンド

活動施設：民間施設

雁ノ巣レクリエーションセンター（記述数：2）
 神社
 今津運動公園
 プール
 パピオアイスアリーナ
 パピオ
 スポルバ21
 スポーツクラブ

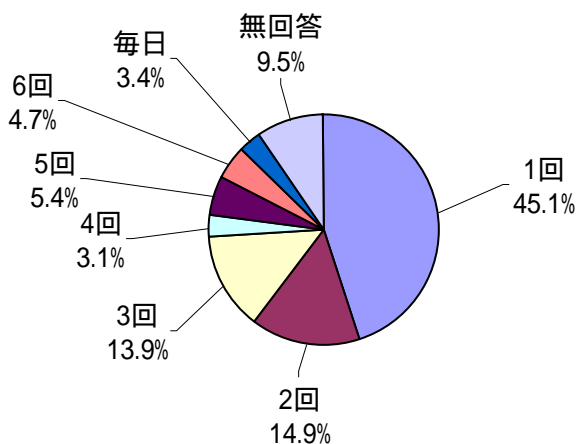
活動施設：その他

山（記述数：2）
 海（記述数：2）
 プール（記述数：2）
 久住，白川
 雁ノ巣レクリエーションセンター
 どこでも

30．課外活動サークルの活動回数

活動は週に何回かについては、1回が45%で最も多く、ついで2回が15%が多い。

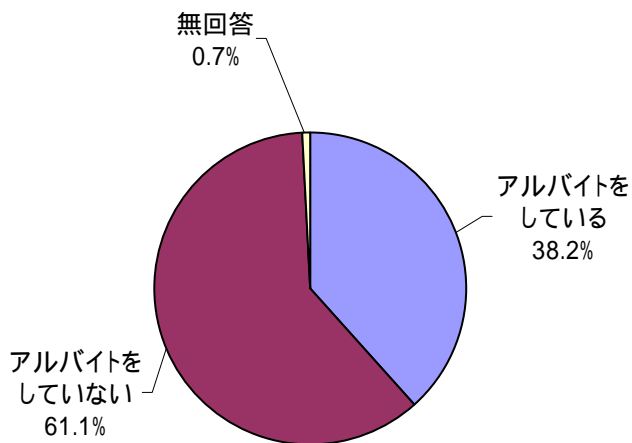
	回答数	構成比
1回	133	45.1%
2回	44	14.9%
3回	41	13.9%
4回	9	3.1%
5回	16	5.4%
6回	14	4.7%
毎日	10	3.4%
無回答	28	9.5%
計	295	100.0%



31．アルバイトの有無

アルバイトをしているかについては、アルバイトをしていないが61%で、アルバイトをしているは38%である。

	回答数	構成比
アルバイトをしている	283	38.2%
アルバイトをしていない	453	61.1%
無回答	5	0.7%
計	741	100.0%



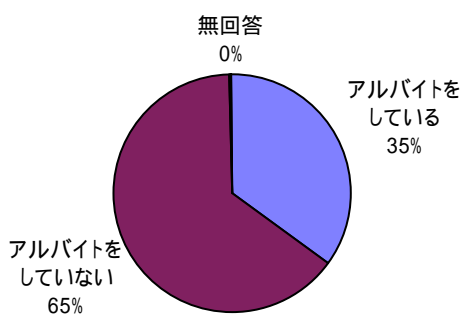
31-1. 主に学んでいるキャンパスとのクロス集計

アルバイトをしていると回答した割合は、伊都が 35%、箱崎が 38%であるのに対し、六本松は 56%とかなり高い。

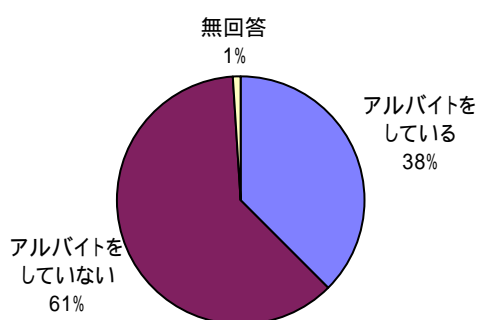
課外活動サークルの回答傾向と同様に、主に六本松キャンパスで学んでいると答えた学生が、「学部 1年」で占められているということが関係していると思われる。

選択項目	アルバイトをしている	アルバイトをしていない	無回答
伊都キャンパス	190	353	2
箱崎キャンパス	33	54	1
六本松キャンパス	58	45	0
筑紫キャンパス	0	0	0
大橋キャンパス	1	0	0
病院キャンパス	0	1	0
無回答	1	0	2
合計	283	453	5

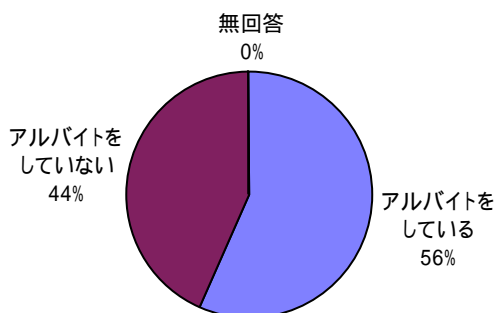
伊都キャンパス



箱崎キャンパス



六本松キャンパス

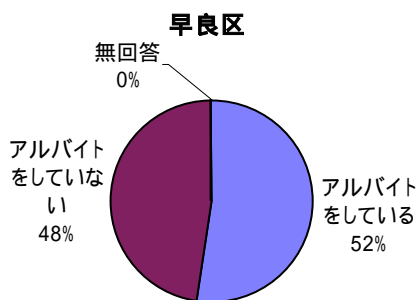
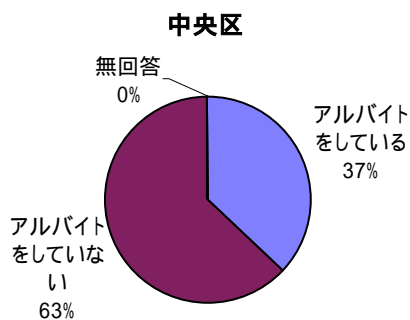
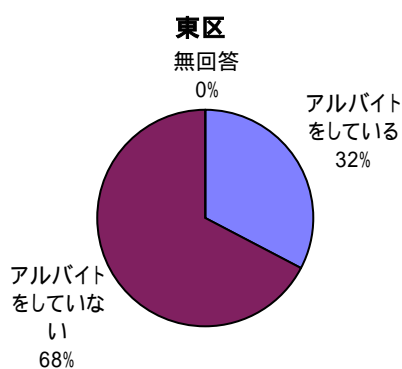
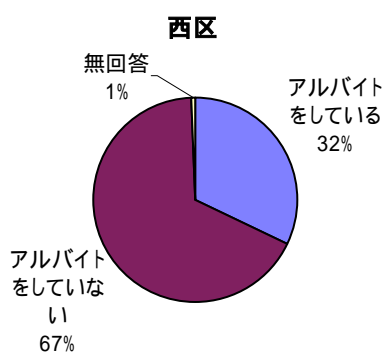


31-2 . 現在の住所とのクロス集計

現住所が西区 ,東区であると答えた人のうち ,アルバイトを行っていると答えた人の割合は ,ともに 32%であった。現住所が中央区であると答えた人の場合 ,若干増加して 37%がアルバイトをしていると答えている。

しかし ,これら主要キャンパスの所在する中央区 ,東区 ,西区以外に居住する学生の場合をしてみると ,早良区では 52% ,博多区では 50% ,「その他」では 53%がアルバイトをしていると答えている。サンプル数の少なさや ,学年など他の理由が影響している可能性も十分に考えられるものの ,これらの地域に住む学生が転居を行わない理由のひとつとして ,アルバイトの影響も考えられる結果となっている。

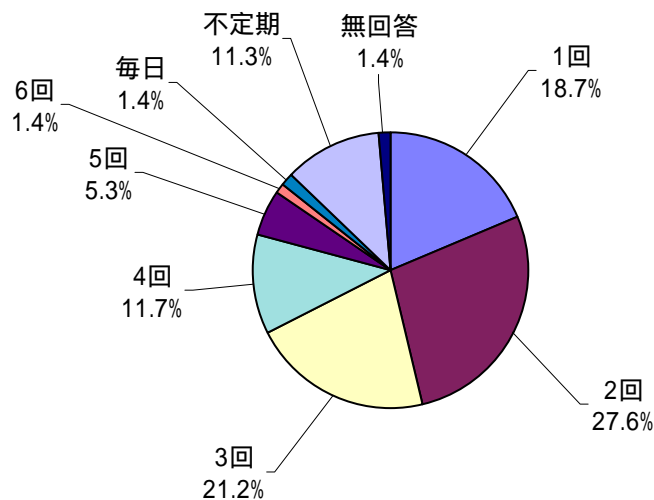
選択項目	アルバイトをしている	アルバイトをしていない	無回答
西区	92	194	2
早良区	24	22	0
東区	45	94	0
博多区	10	10	0
中央区	23	39	0
南区	7	6	0
城南区	27	16	1
前原市	21	39	1
志摩町	0	3	0
その他	32	28	0
無回答	2	2	1
合計	283	453	5



32. アルバイトの週あたりの回数

アルバイトは週に何回しているかについては、2回が28%で最も多く、ついで3回が21%が多い。

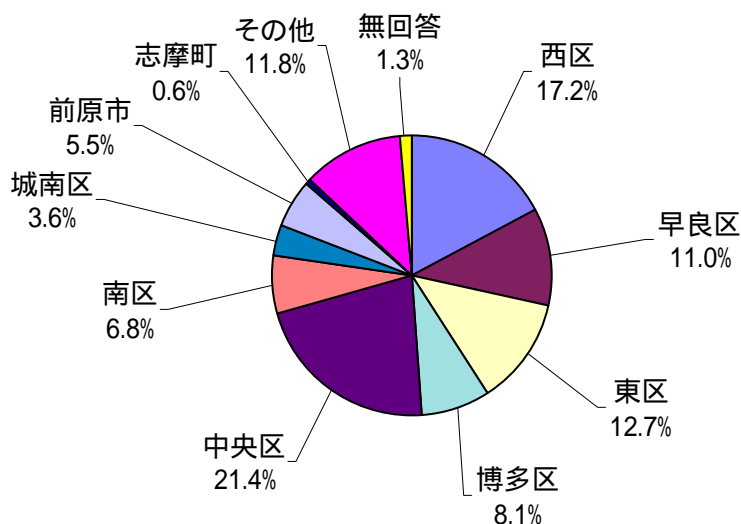
	回答数	構成比
1回	53	18.7%
2回	78	27.6%
3回	60	21.2%
4回	33	11.7%
5回	15	5.3%
6回	4	1.4%
毎日	4	1.4%
不定期	32	11.3%
無回答	4	1.4%
計	283	100.0%



33. アルバイトをしている場所 (複数回答可)

アルバイトをしている住所については、中央区が21%で最も多く、ついで西区が17%が多い。

	回答数	構成比
西区	53	17.2%
早良区	34	11.0%
東区	39	12.7%
博多区	25	8.1%
中央区	66	21.4%
南区	21	6.8%
城南区	11	3.6%
前原市	17	5.5%
志摩町	2	0.6%
その他	36	11.8%
無回答	4	1.3%
計	308	100.0%



アルバイト住所その他	
筑紫野市（記述数：4）	柳川市
春日市（記述数：4）	朝倉市
古賀市（記述数：3）	大野城市
久留米市（記述数：3）	大牟田市
北九州市（記述数：2）	小都市
那珂川町（記述数：2）	宗像市
佐賀県鳥栖市（記述数：2）	篠栗町
いろいろ（記述数：2）	志免町
	在宅
	TA，その他の研究関連

自由記述への回答

アンケートにご回答頂き、ありがとうございました。自由記述には、施設・建物、生活支援施設への改善要望、課外活動・アルバイト、地元への意見など、幅広い分野にわたり多くの意見が書かれておりました。特に多く出された意見等に関してご説明します。

（アンケートについて）

今回のアンケートは、平成18年10月の伊都キャンパスへの第 期移転を終えた段階において、学生に対して生活状況等の把握を行ったもので、この結果は、福利厚生施設のサービスの向上などについての学内での検討や関係機関への働きかけなどに活用させていただきます。なお、アンケート結果は、ホームページ等で公開するなど情報の提供を行います。

（施設・建物に関して）

講義室や課外活動施設の不足など施設の充実についての意見がありました。講義室、外灯、案内サイン、設備などについては、随時整備しているところです。

なお、平成18年度には、課外活動にも利用できる防音講義室、シャワールーム、インターネットの利用ができる情報学習室、福岡銀行及び郵便局のATMを設置しました。

各教室等の使用方法については、工学部等教務課学生支援係(802-2235)に問い合わせください。

また、平成19年度にはウエスト4号館からビッグドラへ行くための渡り廊下の建設が完了する予定です。今後、六本松地区の移転にあわせ、駐車場・駐輪場（一部屋根付き）は随時整備していく計画です。

（図書館に関して）

図書館の開館時間については、平日9時～20時、土曜日10時～18時のところ、平成18年度後期より、定期試験期間中のみ平日9時～21時(土曜日は10時～18時)に延長しています。今後も定期試験期間中は、平日9時～21時の間、開館します。

また、これまで各学科事務室で保管していた蔵書につきましても、移転後は理系図書館に集約しており、図書館の開館時間を考慮すると利便性は向上しています。

（売店に関して）

売店の弁当の価格や営業時間等については、九州大学生生活協同組合やローソンにアンケートによる学生の意見を伝え、検討を要望しております。

（食堂に関して）

食堂メニューの充実等についてはアンケートを実施するなど、定期的な検討を運営事業者に要望しております。ビッグドラの屋上については、バーベキュー等にも利用できますので運営事業者と相談してください。

なお、六本松地区の移転にあわせ、食堂、喫茶、売店、書店が平成21年4月にオープン予定です。

（学生寄宿舍に関して）

学生寄宿舍については、今回のアンケートの意見も参考にしながら2棟目が平成21年3月に完成予定です。

現在のドミトリー の設備、備品等について、改善すべき点は今後の学生寄宿舍の整備に生かしたいと考えています。

なお、インターネットはドミトリー の各居室で利用できます。（但し、費用は個人負担です）

（課外活動に関して）

課外活動場所については、平成19年3月にテニスコート4面を整備しました。

また、六本松地区の移転にあわせ、体育館、課外活動施設、テニスコート7面、多目的運動場、陸上競技場、弓道場、屋外運動場付属施設の整備を予定しています。

（地元への意見）

地元との交流については、福岡市等の関係公共団体や地元の移転対策協議会などと連絡をとりながら、住み良い町作りに向けた取り組みを随時検討しています。

また、地域と協力して実施する伊都祭の開催についても検討されています。

（交通の便に関して）

伊都キャンパスにおける公共交通機関につきましては大きく2つのルートを確認しております。一つは、九大学研都市駅まで鉄道を利用し、そこから昭和バスの路線バスに乗り換えるルート。もう一つは、博多駅・天神から西鉄の直通バスを利用するルートです。

また、料金に関しても、「伊都キャンパス・回数券（地下鉄全駅から伊都キャンパスまで500円/回）」、昭和バスの「特別割引回数券（192円/回、通常330円、有効期限なし）」、西鉄バスは「エコルカード（6000円/月）」といった特別料金を設定していただくなど、交通事業者にも精一杯ご協力頂いているところです。六本松地区の移転にあわせ、今後とも、各交通機関の利用状況もみながら、より一層の利便性の向上に向け、交通事業者と協議していきたいと考えています。

なお、公共交通機関のサービスは、利用者が多いほど充実してまいりますので、学生の皆様にもできるだけ公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

（その他）

平成18年度は1回だった伊都キャンパスでの就職説明会を、平成19年度は3回に増やして開催しています。

また、大学院の共通科目は、平成18年度より伊都キャンパスでも2科目開講しており、学生からの要望に応じているところです。